SII

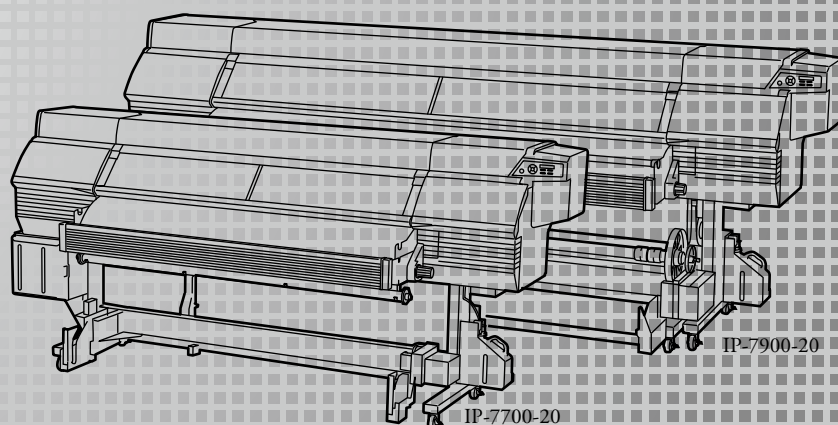
溶剤インク　カラーインクジェットプリンター

IP-7900-20/21
IP-7700-20/21

応用操作ガイド

ご使用の前に、本書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐに見られるよう、大切に保管してください。

U00125349600

こんなときは
調整する
メニューツリー
索引

株式会社 セイコーアイ・インフォテック

U00125349600　　　2011 年 8 月

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

「JISC61000-3-2 適合品」
JISC61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

警　告

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関係法律
刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条等

はじめに

このたびは、IP-7900-20/-21/IP-7700-20/-21　溶剤インク　カラーインクジェットプリンター（以後、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、USB インタフェースを搭載し、104 インチ幅まで (IP-7700-20/21 は 74 インチ幅まで) のメディア対応の溶剤インクを採用したカラーインクジェットプリンターです。

本書、**「IP-7900-20/-21/IP-7700-20/-21　溶剤インク　カラーインクジェットプリンター　応用操作ガイド」**では、主に本機の調整や機能設定操作について説明しています。
ご使用の前に知っておいていただきたい情報や、電源のオン／オフ、メディア・インクのセット方法など、基本的な取り扱い方法に関しては、別冊の「基本操作ガイド」をご覧ください。

なお、基本操作ガイドに記載の次の事項は、本機を正しく安全にお取り扱いいただくために、本機をご使用になる前に必ずお読みください。

- **安全にお使いいただくために**
- **納入品**
- **マニュアルの表記について**

また、本書はお読みいただいた後も、必要なときにすぐ見られるよう、大切に保管してください。

目的別もくじ

基本操作ガイド

本機を初めて使う場合にまずはお読みください。
メディアのセット方法、印刷から印刷物の回収、使用後のメンテナンス方法など、日常的な使用方法を説明しています。

応用操作ガイド

細かい設定や調整など、本機の性能を十分に発揮させ、効果的に本機をご使用いただくための内容を説明しています。

参照ページ

もくじ

マニュアルの表記について

本書で説明に使用する、マーク、キー／ LCD ／ LED などの表記ルールを以下に示します。

マーク表記について

⚠警告

◆ 安全上の注意における「警告」に相当する内容を説明しています。

⚠注意

◆ 安全上の注意における「注意」に相当する内容を説明しています。

参考文

◆ 知っておくと便利なこと、操作などの補足事項を記載しています。

📖「参照」マークです。
このマークの後に、参照項や参照ページを示しています。

電源をオフする

本機はプリントヘッドの状態を良好に保つため、装置が待機状態になってから 72 時間経過したのち、フィルキャップ動作を行います。(その後は 3 日毎に行います。)
そのため、本機の電源は常にオンのままにしていただくことを推奨いたします。
やむを得ず長期間使用しない場合は、以下の参照して電源をオフしてください。

フィルキャップとは？

◆ キャップ内にインクを充填してプリントヘッド(ノズル面)をインクで浸し、ノズル詰まりを防ぐ機能です。

	一時的	数日間	2週間以上	1ヶ月以上
電源オフ	●	●	**サービスクリーン** 9 ページ プリントヘッドとインク経路を保管液で洗浄後、保管液を充填した状態で保存します。保管液セットをご用意ください。	本機を 1 ヶ月以上放置する場合は、あらかじめ購入先または、最寄りの弊社サービス拠点にご相談ください。
電源オン	●	●	**ヘッドウオッシュ** 14 ページ 洗浄液でプリントヘッドおよびインク経路を洗浄します。洗浄液セットをご用意ください。 **インク充填** 19 ページ ヘッドウォッシュを実施後、インクトレイを挿入し、インクを充填します。 **日常メンテナンス** 日常メンテナンスを実施してください。	サービスコールエラーが表示されますので、販売店または最寄りの弊社サービス拠点までご連絡ください。

⚠注意

- ◆ プリントヘッド保護のために、本機にインクが空の状態で 1 ヶ月以上放置することは避けてください。
- ◆ サービスクリーン、ヘッドウォッシュ実行中にフロントカバーや加圧操作ノブを開閉しないようにしてください。開閉すると、動作を最初からやり直す場合があり、インクやクリーニング液が無駄になる場合があります。

◆サービスクリーン

■ 必要なもの 作業を始める前に、以下のものが揃っているか確認してください。

◆ **保管液パックは１回のサービスクリーンで使い切ります。**

■ ご注意

◆ LCD 上ではサブカートリッジ（カバー）のことをサブタンク（カバー）と表示します。

1 廃インクボトルを空にする

2

本機をオフラインにして、MENU キーを押す

3

キーを押す

4

キーを押して、「#サービスクリーン」を選択する

5

OK キーを押す

6

キーを押す

7

サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ２ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

```
ｻﾌﾞ ﾀﾝｸｶﾊﾞｰｦ
ﾊｽﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

8

サブカートリッジ（8 本）を取り外す

```
ｻﾌﾞ ﾀﾝｸｦﾊｽﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

9

保管液セットのダミーサブカートリッジをセットする

```
Y1ﾀﾞﾐｰｻﾌﾞ ﾀﾝｸｦ
ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

10

サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ２ヶ所を締める

```
ｻﾌﾞ ﾀﾝｸｶﾊﾞｰｦ
ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ
```

11

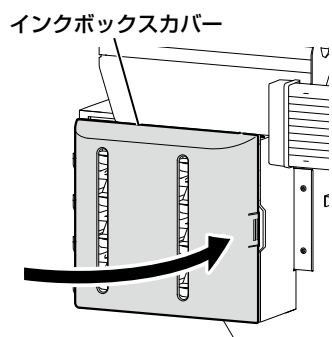
インクボックスカバーを開ける

```
インクカバーヲ
アケテクダサイ
```

12

インクトレイ（8個）を取り外す

```
Y1インクパックヲ
ヌイテクダサイ
```

13

インクボックスカバーを閉める

```
インクカバーヲ
シメテクダサイ
```

14

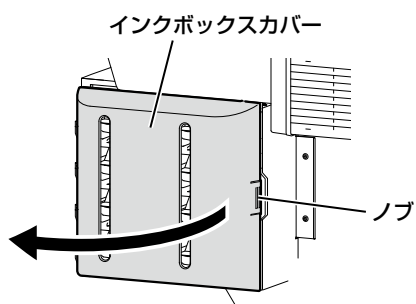
```
ヌキトリスタート
*ボトルカクニン  OK?
```

↓ OK

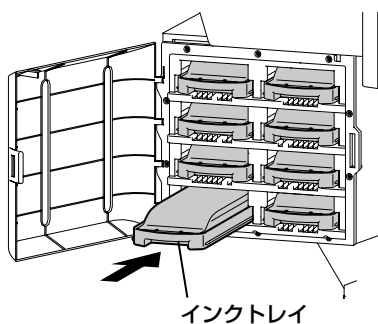
```
ヌキトリチュウ
シバラクオマチクダサイ        12
```

OK キーを押す

抜き取りを実行します。

15

インクボックスカバーを開ける

```
インクカバーヲ
アケテクダサイ
```

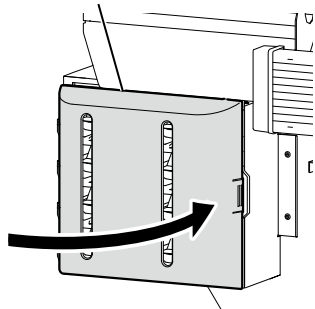
16

保管液パックをセットしたインクトレイをセットする

```
Y 1 ホカンエキパックヲ
セットシテクダサイ
```

17

インクボックスカバーを閉める

```
インクカバ゛ーヲ
シメテクダ゛サイ
```

◇ 別売のインクトレイに予め保管液パックをセットしておくと、作業をスムーズに行うことができます。

18

```
ジ゛ュウテンスタート
*ボ゛トルカクニン　OK?
```

↓ OK

```
ジ゛ュウテンチュウ
シバ゛ラクオマチクダ゛サイ　　　　12
```

OK キーを押す

19

インクボックスカバー

ノブ

インクボックスカバーを開ける

```
インクカバ゛ーヲ
アケテクダ゛サイ
```

20

保管液パックをセットしたインクトレイを取り外す

```
Y 1 ホカンエキパ゛ックヲ
ヌイテクダ゛サイ
```

21

インクボックスカバーを閉める

```
インクカバ゛ーヲ
シメテクダ゛サイ
```

22

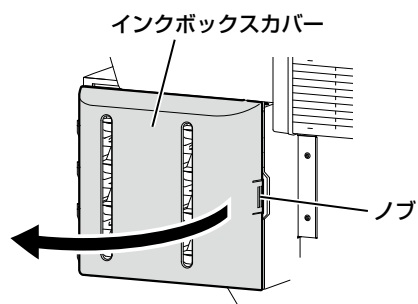
```
ヌキトリスタート
*ボ゛トルカクニン　OK?
```

↓ OK

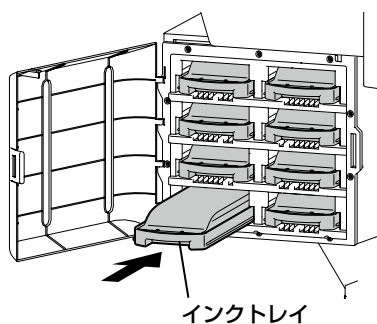
```
ヌキトリチュウ
シバ゛ラクオマチクダ゛サイ　　　　12
```

OK キーを押す

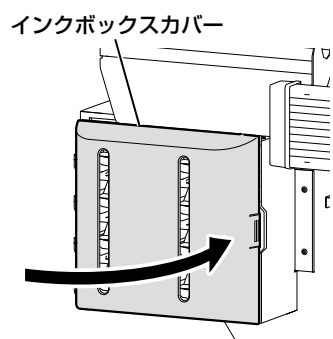
抜き取りを実行します。

23

インクボックスカバーを開ける

インクカバーヲ アケテクダサイ

24

保管液パックをセットしたインクトレイをセットする

Y 1 ホカンエキパックヲ セットシテクダサイ

25

インクボックスカバーを閉める

インクカバーヲ シメテクダサイ

26

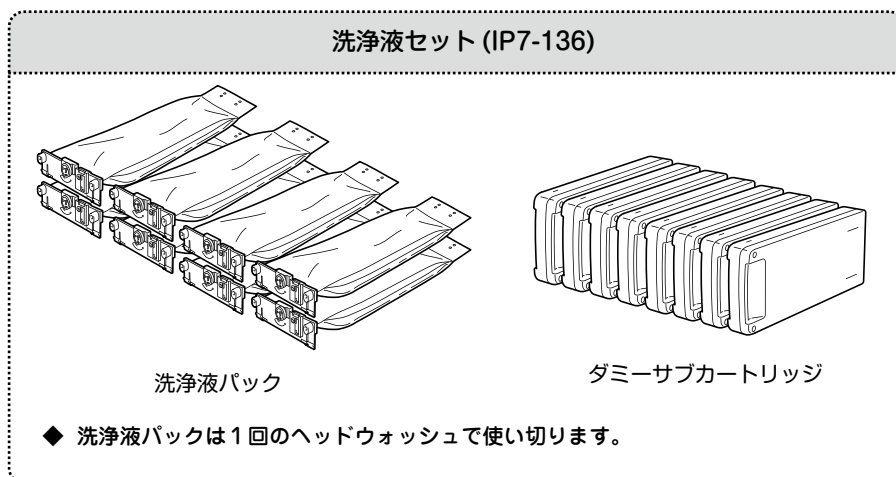
ジュウテンスタート *ボトルカクニン OK?

ジュウテンチュウ シバラクオマチクダサイ 12

#サービス >サービスクリーン

OK キーを押す

◆ヘッドウォッシュ

■ 必要なもの　作業を始める前に、以下のものが揃っているか確認してください。

■ ご注意

◆ LCD 上ではサブカートリッジ（カバー）のことをサブタンク（カバー）と表示します。

◇ 別売のインクトレイに予め洗浄液パックをセットしておくと、作業をスムーズに行うことができます。

1 廃インクボトルを空にする

2 本機をオフラインにして、MENU キーを押す

3 ＞キーを押す

4 ∨キーを数回押して、「＃サービス」を選択する

5 OK キーを押す

6

キーを押して、「＊ヘッドウォッシュ」を選択する

7

OK キーを押す

8

サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ 2 ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

```
サブ゛タンクカバ゛ーヲ
ハズ゛シテクダ゛サイ
```

9

保管液セットのダミーサブカートリッジ（8 本）を取り外す

```
Y1ダ゛ミーサブ゛タンクヲ
ハズ゛シテクダ゛サイ
```

10

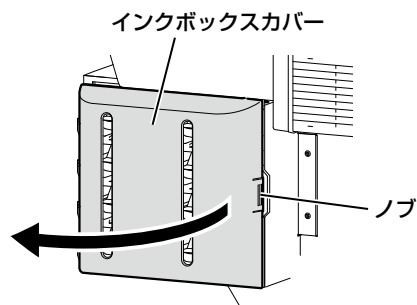
洗浄液セットのダミーサブカートリッジ（8 本）をセットする

```
Y1ダ゛ミーサブ゛タンクヲ
セットシテクダ゛サイ
```

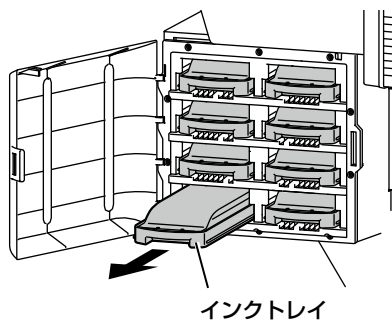
11

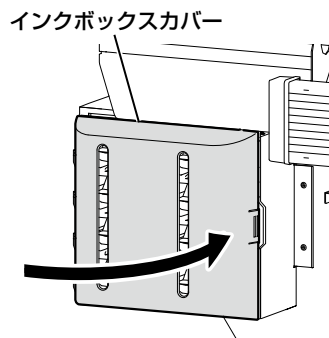
サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ 2 ヶ所を締める

```
サブ゛タンクカバ゛ーヲ
トリツケテクダ゛サイ
```

12

インクボックスカバーを開ける

インクカバ゛ーヲ
アケテクダ゛サイ

13

インクトレイ（8個）を取り外す

Y 1 ホカンエキパ゜ックヲ
ヌイテクダ゛サイ

14

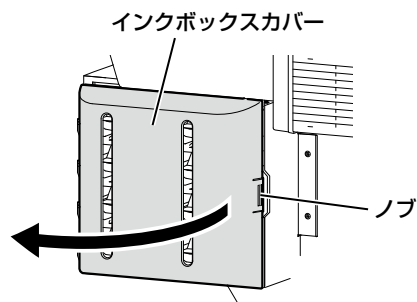
インクボックスカバーを閉める

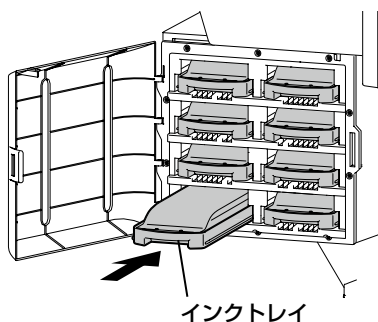
インクカバ゛ーヲ
シメテクダ゛サイ

15

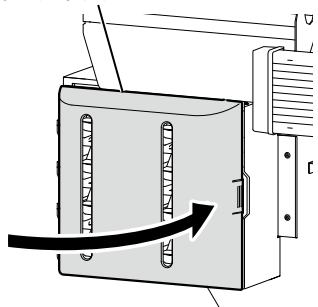
OK キーを押す

抜き取りを実行します。

16

インクボックスカバーを開ける

インクカバ゛ーヲ
アケテクダ゛サイ

17

洗浄液パックをセットしたインクトレイをセットする

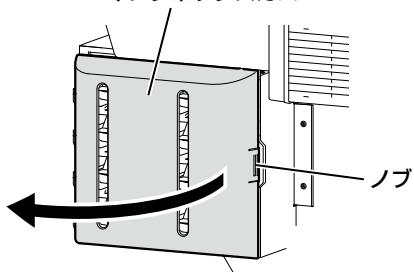
Y 1 ｾﾝｼﾞｮｳｴｷﾊﾟｯｸｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ

18

インクボックスカバーを閉める

ｲﾝｸｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ

19

OK キーを押す

20

インクボックスカバーを開ける

ｲﾝｸｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ

21

洗浄液パックをセットしたインクトレイを取り外す

Y 1 ｾﾝｼﾞｮｳｴｷﾊﾟｯｸｦ ﾇｲﾃｸﾀﾞｻｲ

22

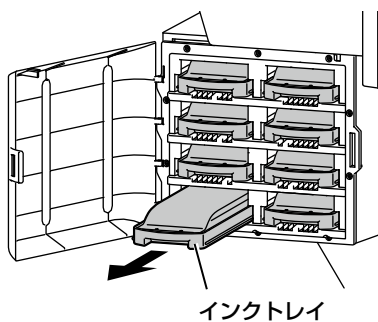
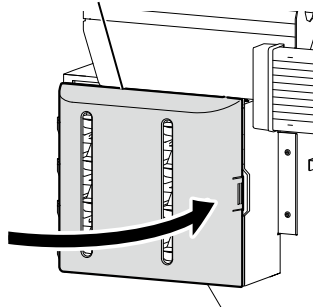
インクボックスカバーを閉める

```
インクカバ゛ーヲ
シメテクダ゛サイ
```

23

```
ヌキトリスタート
*ボ゛トルカクニン　OK?
```

↓ OK

```
ヌキトリチュウ
シバ゛ラクオマチクダ゛サイ　　　　12
```

OK キーを押す

抜き取りを実行します。

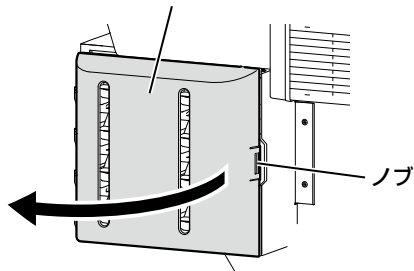
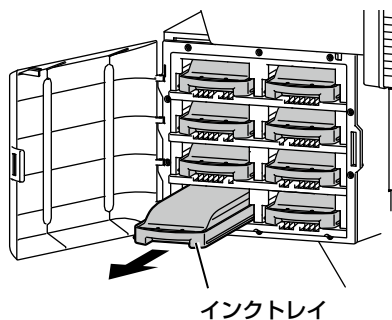
24

16 〜 19 の手順をくりかえし、再度洗浄を実行する

25

インクボックスカバーを開ける

```
インクカバ゛ーヲ
アケテクダ゛サイ
```

26

インクトレイ

洗浄液パックをセットしたインクトレイを取り外す

```
Y 1 センシ゛ョウエキパ゜ックヲ
ヌイテクダ゛サイ
```

27

インクボックスカバーを閉める

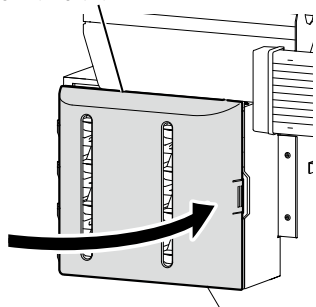
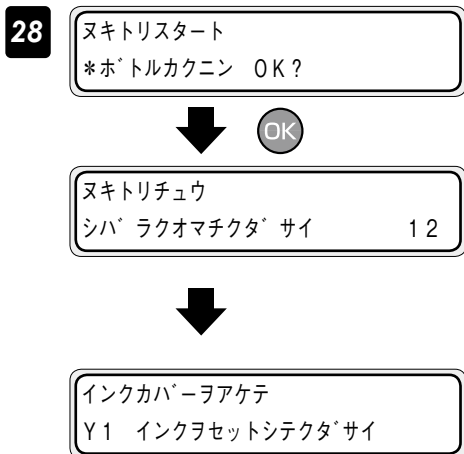
```
インクカバ゛ーヲ
シメテクダ゛サイ
```

28

OK キーを押す

↓ OK

ヌキトリチュウ
シハ゛ラクオマチクダ゛サイ　　　12

インクカバ゛ーヲアケテ
Y1　インクヲセットシテクダ゛サイ

◆ヘッドウォッシュ後のインク充填

1 廃インクボトルを空にする

2

↑インク　　　　　トウロク↓
←メデ゛ィア　　　チョウセイ→

本機をオフラインにして、MENU キーを押す

↓ MENU

3

↑バ゛ックフィード゛　　フィード゛↓
←クリーニング゛　　　サービ゛ス→

〉キーを押す

↓ 〉

4

#キャップ゜クリーニング゛
>

∨ キーを数回押して、「#サービス」を選択する

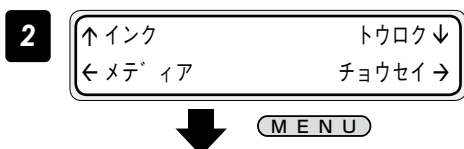
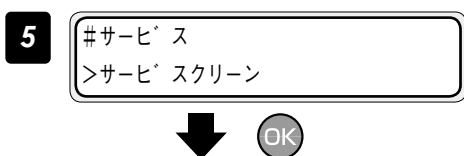
↓ ∨・・・

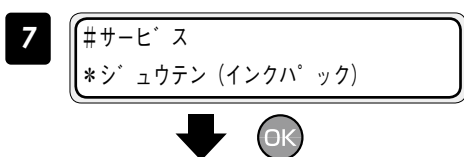
5

#サービ゛ス
>サービ゛スクリーン

OK キーを押す

↓ OK

6

#サービ゛ス
*サービ゛スクリーン

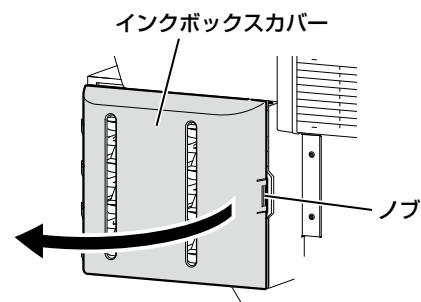
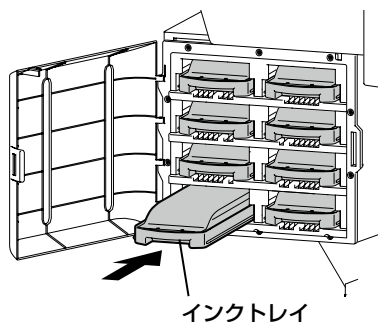
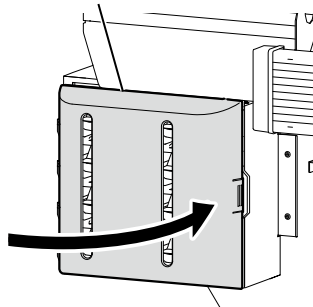
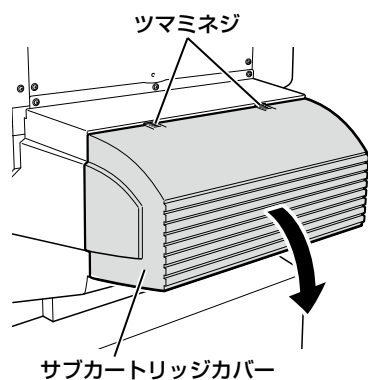
∨ キーを数回押して、「*ジュウテン（インクパック)」を選択する

↓ ∨・・・

7

#サービ゛ス
*シ゛ュウテン（インクハ゜ック)

OK キーを押す

↓ OK

8

廃インクボトルが空になっていることを確認して、OK キーを押す

9

インクボックスカバーを開ける

ｲﾝｸｶﾊﾞｰｦ
ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ

10

インクトレイをセットする

Y 1 ｲﾝｸﾊﾟｯｸｦ
ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ

8色機モード

インクトレイ	
Lg8	Y 1
M 7	Lm2
Lc6	C 3
K 5	Gy4

4色機モード

インクトレイ	
Y 8	Y 1
M 7	M 2
C 6	C 3
K 5	K 4

11

インクボックスカバーを閉める

ｲﾝｸｶﾊﾞｰｦ
ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ

12

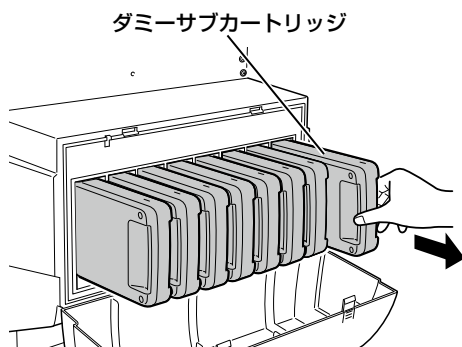
OK キーを押す

13

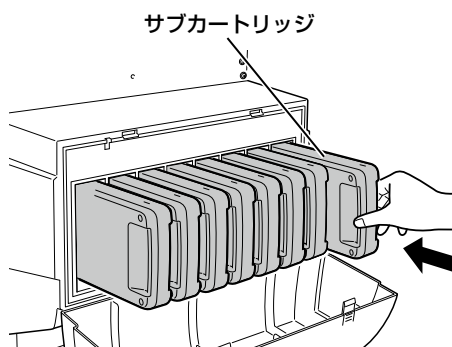
サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ２ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

ｻﾌﾞﾀﾝｸｶﾊﾞｰｦ
ﾊｽﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ

14

保管液セットのダミーサブカートリッジ（8 本）を取り外す

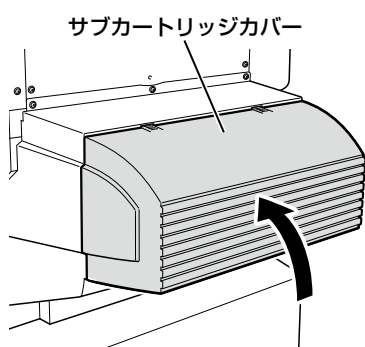
```
Y1サブ゛タンクヲハズ゛シテクダ゛サイ
```

15

サブカートリッジ（8本）をセットする

```
Y1サブ゛タンクヲ
セットシテクダ゛サイ
```

8色機モード

4色機モード

16

サブカートリッジカバー

サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ2ヶ所を締める

```
サブ゛タンクカハ゛ーヲ
トリツケテクダ゛サイ
```

17

```
#クリーニング゛スタート
*ボ゛トルカクニン　OK?
```

OK

```
クリーニング゛チュウ
シハ゛ラクオマチクダ゛サイ　　　12
```

```
#サーヒ゛ス
>ジ゛ュウテン（インクパ゛ック）
```

OK キーを押す

ツウジョウクリーニングが行われます。
クリーニングが終了すると元の画面に戻ります。

こんなときは
調整する
メニューツリー
索引

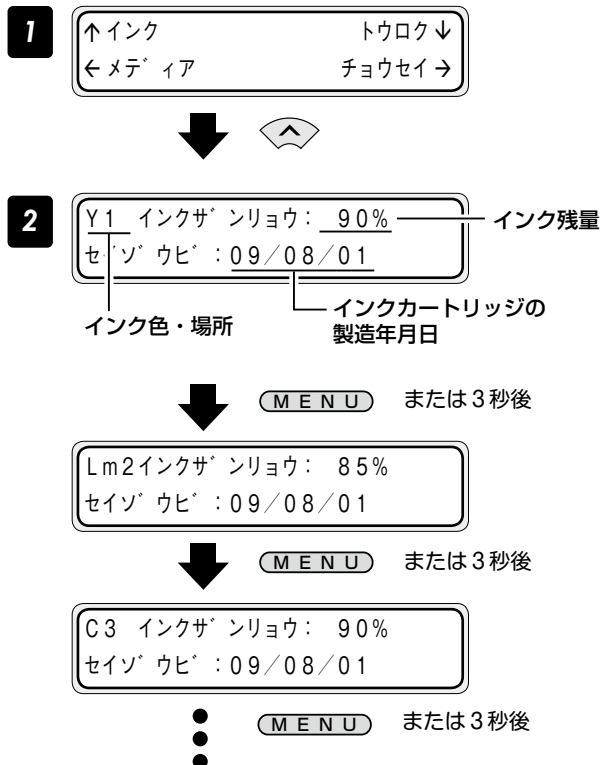
プリンターの情報を確認する

◆インクの残量を確認したい

■ オフラインにして確認する

1

本機をオフラインにし、 キーを押す

2

MENU キーを押してインク色を切り替える

３秒間隔でインク色が切り替わります。

CANCEL キーまたは キーを押すとオフライン（メニューモード）表示に戻ります。

ONLINE キーを押すとオンライン（アイドルモード）表示に移行します。

MENU　または３秒後

MENU　または３秒後

MENU　または３秒後

■ 印刷中（オンライン中）に確認する

1

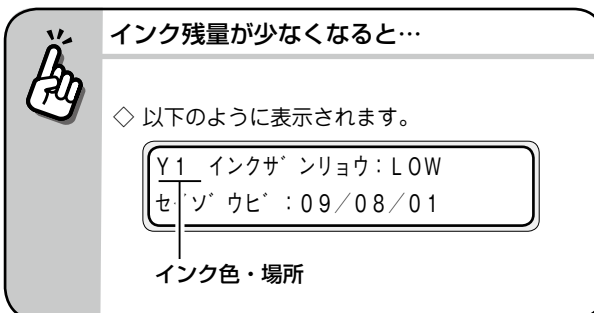
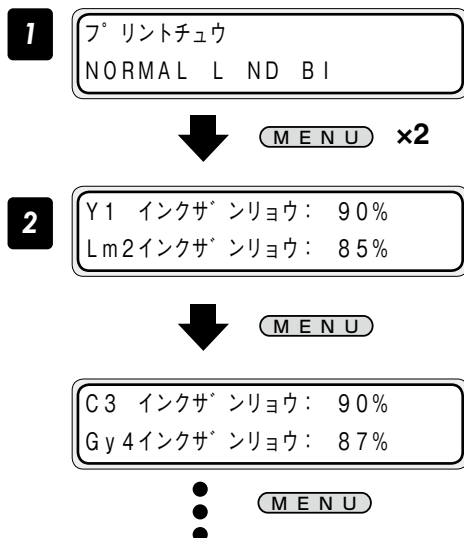
MENU キーを２回押す

MENU ×2

2

Y1 インクザ゛ンリョウ： 90%
Lm2インクザ゛ンリョウ： 85%

MENU キーを押してインク色を切り替える

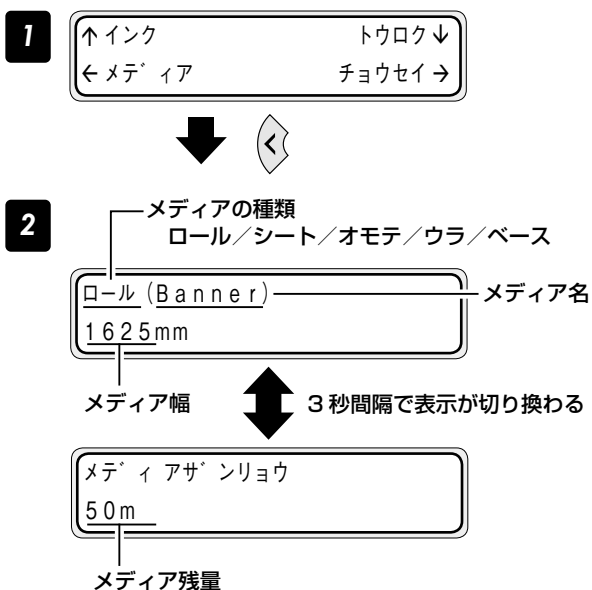
C3 インクザ゛ンリョウ： 90%
Gy4インクザ゛ンリョウ： 87%

MENU

◆メディアの残量を確認したい

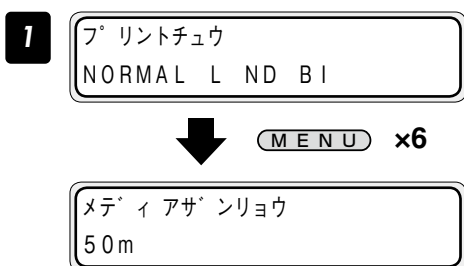
■ オフラインにして確認する

1

本機をオフラインにし、〈 キーを押す

2

３秒間隔で表示が切り替わり、メディア残量が表示されます。

■ 印刷中（オンライン中）に確認する

1

MENU キーを６回押す

◆プリンター情報を見たい

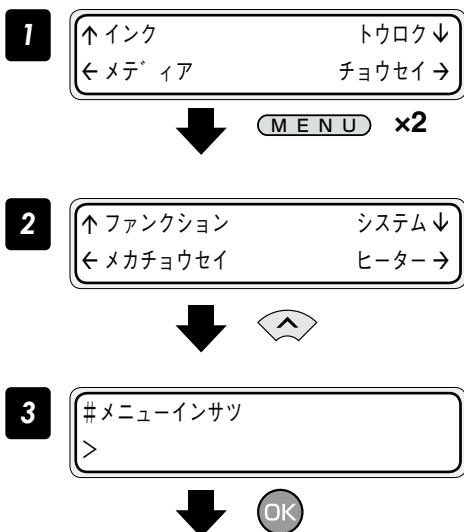
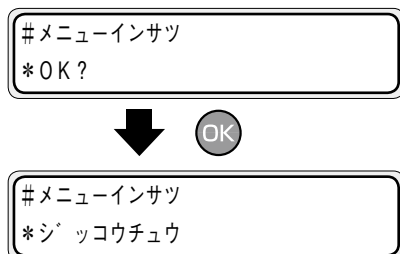
プリンター情報、パネル設定情報などを印刷します。

1

本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す

2

 キーを押す

3

OK キーを押す

OK キーを押す

プリンター情報が印刷されます。

◆ USB の接続状態を確認したい

1

本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す

2

キーを押す

3

キーを数回押して、「# USB アドレス」を選択する

4

「000」以外になっていれば OK

USB アドレスが表示される

USB アドレスが「000」と表示された場合、USB ケーブルを接続し直してください。

キーを押す

#USBスピ゜ート゛
*HIGH-SPEED

「HIGH-SPEED」になっていれば OK

USB スピードが表示される

「FULL-SPEED」と表示された場合、印刷が遅くなります。

◆システム F/W のバージョンを確認したい

1

MENU ×2

本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す

2

↑ファンクション システム↓
←メカチョウセイ ヒーター→

∨ キーを押す

3

#LANGUAGE
>JAPANESE

∨ ・・・

∨ キーを数回押して、「# F/W バージョン」を選択する

#F/Wバージョン
*X. XX_YY

システム F/W バージョンが表示される

◆プリンターの積算印刷距離を確認したい

本機がこれまでに印刷した距離の合計を確認することができます。

1

MENU

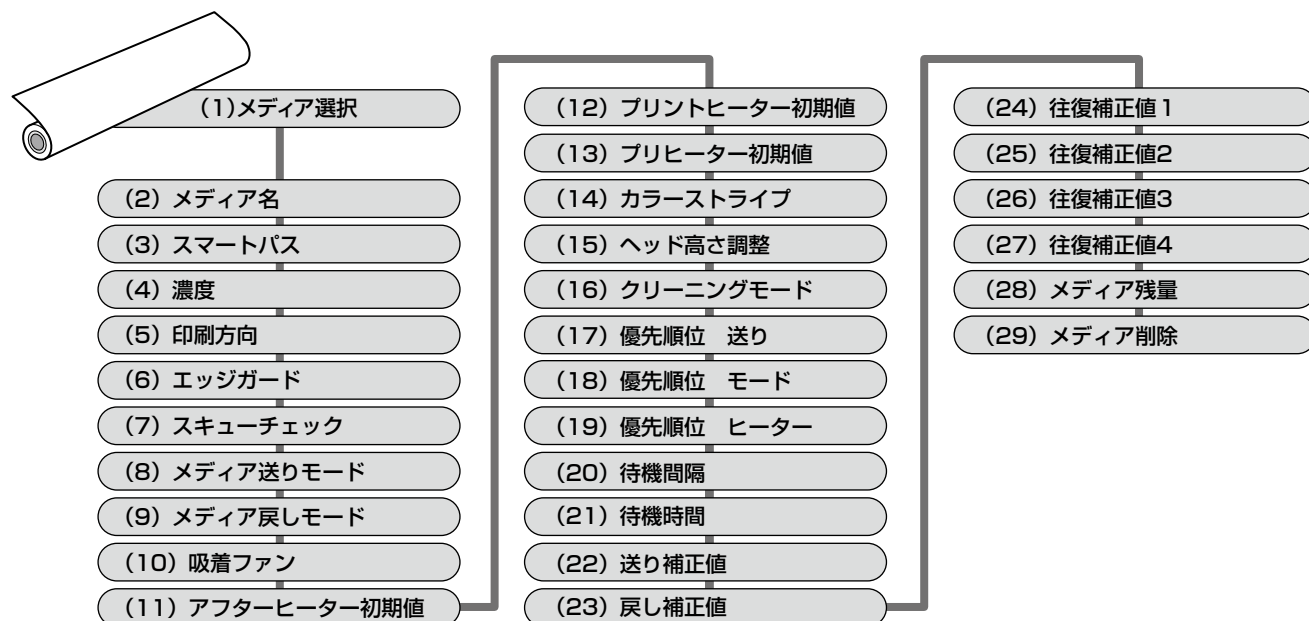
ソウコウキョリ
XXXXXXXm

積算印刷距離

オンライン中に MENU キーを押す

メディアの取り扱い

◆メディアを登録したい

以下のトウロクメニューのメディア情報を 20 個登録できます。

ここでは、メディア番号「02」のメディアに、送り補正値を入力する方法を例にして説明します。

1

```
↑インク          トウロク↓
←メディア        チョウセイ→
```

本機をオフラインにし、 キーを押す

2

```
#メディアセンタク
>01：PAPER         *
```

OK キーを押す

3

```
#メディアセンタク
*01：PAPER         *
```

キーを押す

4

```
#メディアセンタク
*02：Glossy        *
```

OK キーを押す

5

```
#メディアセンタク
>02：Glossy        *
```

キーを数回押して、「#オクリホセイチ」を選択する

・・・

6

7

⟨, ⟩ キーで桁を合わせ、∨ , ∧ キーで数値を設定します。

8

9

■ プリセットメディア初期値

最大 20 種類（メディア番号 01 ～ 20）のメディアが登録でき、登録したメディアの削除や変更も可能です。ただしメディア番号 01(PAPER) および現在本機にセットされているメディアを削除することはできません。以下に初期値を示します。

設定内容 ＼ メディア番号	01	02	03	04	05
メディア名	PAPER	Glossy	Matte	Banner	BLT_B
スマートパス	弱	弱	弱	弱	弱
濃度	通常	通常	通常	通常	通常
印刷方向	双方向	双方向	双方向	双方向	双方向
エッジガード	使用	使用	使用	使用	使用
スキューチェック	オン	オン	オン	オン	オン
メディア送りモード	シーケンス 1	シーケンス 1	シーケンス 1	シーケンス 1	シーケンス 1
メディア戻しモード	戻す	戻す	戻す	戻す	戻す
吸着ファン	中	中	中	弱	弱
アフターヒーター初期値	**℃	45℃	45℃	45℃	45℃
プリントヒーター初期値	**℃	40℃	40℃	40℃	40℃
プリヒーター初期値	**℃	45℃	45℃	45℃	45℃
カラーストライプ	オン	オン	オン	オン	オン
ヘッド高さ調整	+0.00mm	+0.00mm	+0.00mm	+0.00mm	+0.00mm
クリーニングモード	モード 1	モード 1	モード 1	モード 1	モード 1
優先順位　送り	データ	データ	データ	データ	データ
優先順位　モード	データ	データ	データ	データ	データ
優先順位　ヒーター	データ	データ	データ	データ	データ
待機間隔	0000 スキャン（なし）	0000 スキャン（なし）	0000 スキャン（なし）	0000 スキャン（なし）	0000 スキャン（なし）
待機時間	1 秒	1 秒	1 秒	1 秒	1 秒
送り補正値	100.00%	*	100.00%	100.00%	100.00%
戻し補正値	+0000 パルス	+0000 パルス	+0000 パルス	+0000 パルス	+0000 パルス
往復補正値 1	+00	+00	+00	+00	+00
往復補正値 2	+00	+00	+00	+00	+00
往復補正値 3	+00	+00	+00	+00	+00
往復補正値 4	+00	+00	+00	+00	+00

*工場出荷時に調整された値が設定されています。

◆登録したメディアを呼び出したい

1

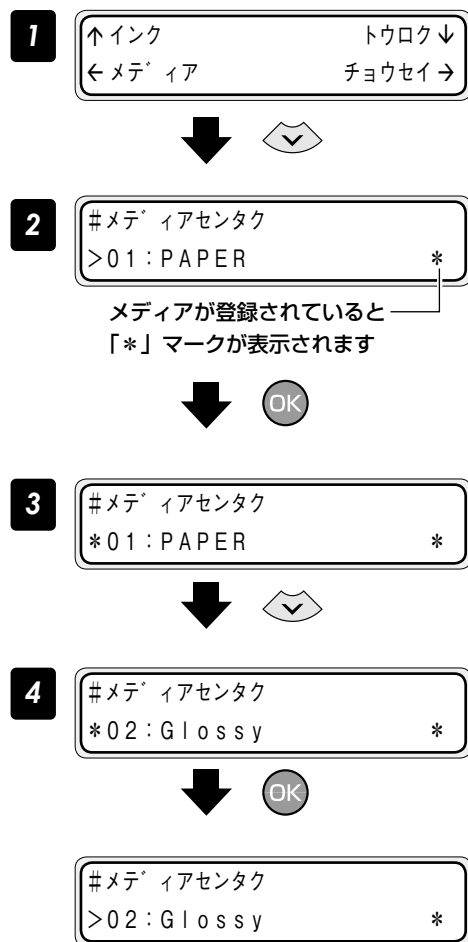
本機をオフラインにし、 キーを押す

2

#メディアセンタク
>01：PAPER ＊

メディアが登録されていると
「＊」マークが表示されます

OK キーを押す

3

キーを押す

呼び出したいメディアを選択します。

4

OK キーを押す

#メディアセンタク
>02：Glossy ＊

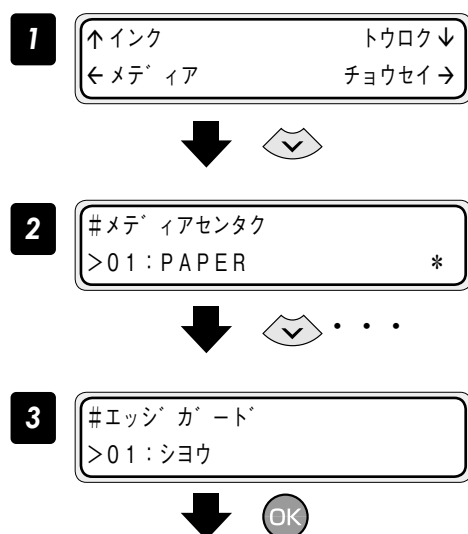
◆左右の余白をできるだけなくしたい

■ メディアエッジガードの使用を「未使用」にする

1

本機をオフラインにし、 キーを押す

2

#メディアセンタク
>01：PAPER ＊

キーを数回押して、「#エッジガード」を選択する

3

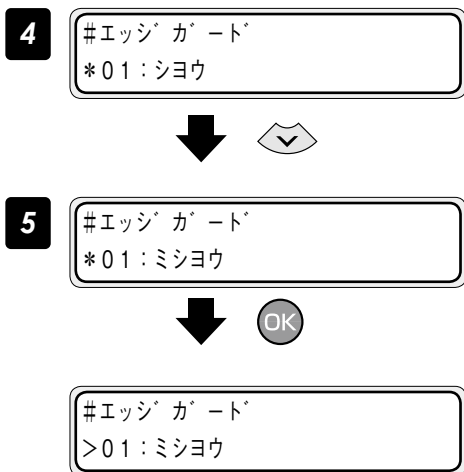
OK キーを押す

4

キーを押す

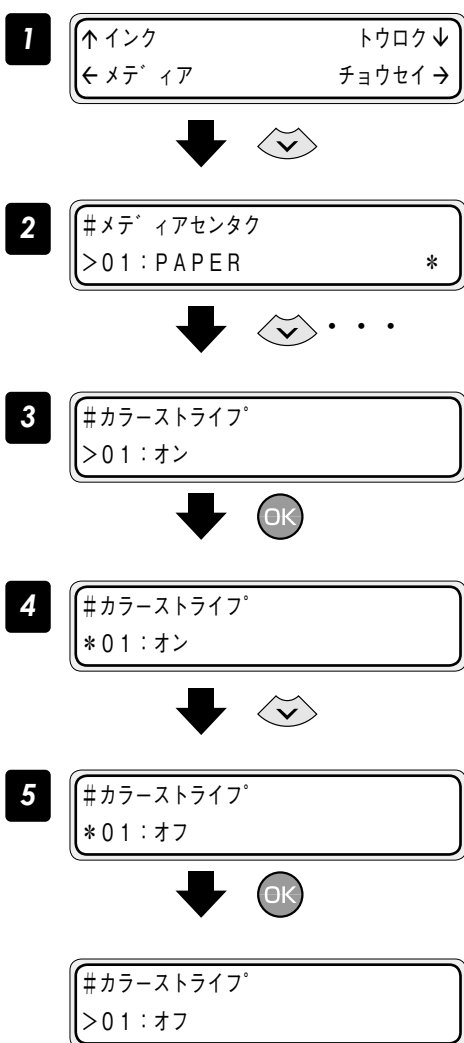
5

OK キーを押す

#エッジ゛ガ゛ード゛
>01：ミシヨウ

■ カラーストライプの印刷をオフにする

1

本機をオフラインにし、 キーを押す

2

キーを数回押して、「#カラーストライプ」を選択する

3

OK キーを押す

4

 キーを押す

5

OK キーを押す

#カラーストライフ゜
>01：オフ

◆メディアの張り付きをなくしたい

プラテンにメディアを吸着させる力（ファンの風量）を「弱」にします。コシの弱いメディアなどで、シワが発生する場合は「ジャク」を選択してください。

◆メディアの浮き上がりを防止したい

プラテンにメディアを吸着させる力（ファンの風量）を「強」にします。

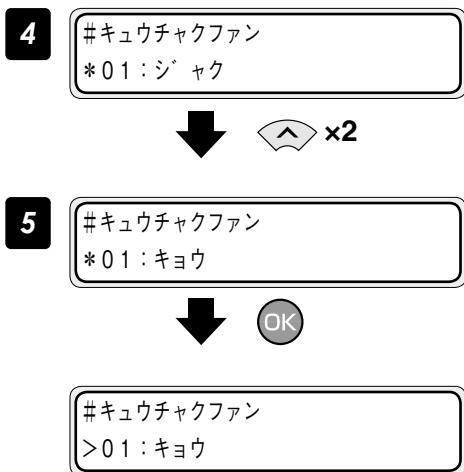
4

キーを２回押す

×2

5

キーを押す

#キュウチャクファン
>01：キョウ

◆厚いメディアに印刷したい

■ プリントヘッドの高さを変える

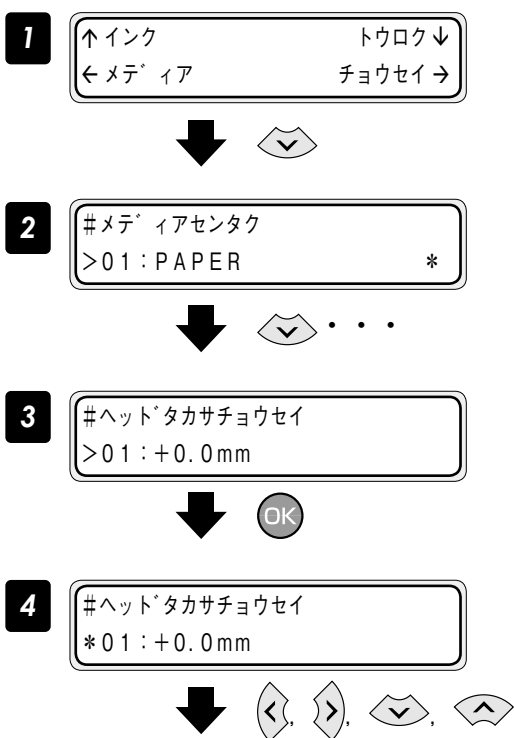
プリントヘッドの高さは、電源投入時、およびメディアセット時に本機が自動的に最適な高さに調整します。しかしながら、メディアのコシの強さや温度に対する反応性によっては、さらに調整が必要になることがあります。その場合は、操作パネルからトウロクメニューを選択し、プリントヘッド高さを調節します。

⚠注意

◆ **プリントヘッドの高さを調節した場合、プリントヘッドとメディアがこすれないように注意して下さい。プリントヘッドのこすれは、プリントヘッドの吐出不良を起こし、画質が悪化する原因となります。**
また、プリントヘッドの高さとメディアの間隔が開きすぎた場合も、画質が悪化しますので、本機が自動調整したプリントヘッドの高さで使用することをお勧めします。

1

本機をオフラインにし、キーを押す

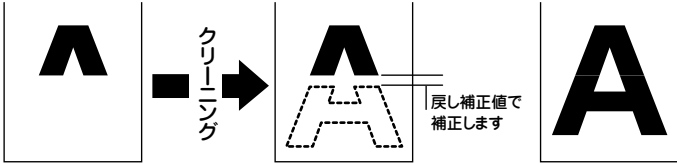
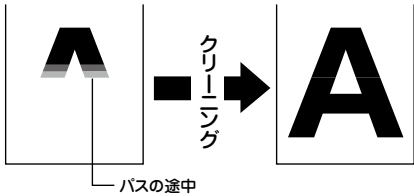
2

キーを数回押して、「#ヘッドタカサチョウセイ」を選択する

3

OK キーを押す

4

プリントヘッド高さの調整値を入力し、OK キーを押す

, キーで桁を合わせ、, キーで数値を設定します。
調整可能範囲は -0.3 ～ +1.0mm です。

```
#ﾍｯﾄﾞﾀｶｻﾁｮｳｾｲ
＊01：+0.1mm
```

```
#ﾍｯﾄﾞﾀｶｻﾁｮｳｾｲ
>01：+0.1mm
```

◆自動クリーニングのタイミングを変えたい

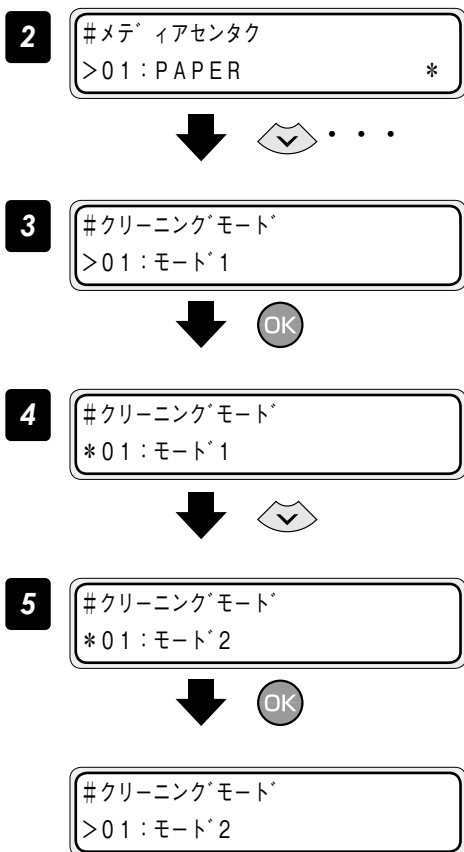
プリントヘッドの状態を保つために、プリンターが自動で実行するクリーニングのモードを登録されているメディアごとに変更することができます。メディアの特性に合わせてモードを選択してください。

モード1	過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷終了時に自動クリーニングが行われます。
モード2	印刷の途中でクリーニングを実行します。このモードでは、プリンターは、実行中のバンドの印刷を完了させてからクリーニングを行います。 塩ビのような、ヒーター温度の影響を受けやすいメディアを使用する場合に選択してください。 クリーニング後、プリンターは、中断していた印刷の残りを開始します。 メディアによっては、クリーニング前と後の印刷のつなぎ目が合いにくい場合があります。その場合には、モード1またはモード3をご使用ください。 クリーニング 戻し補正値で補正します
モード3	印刷の途中でクリーニングを実行します。このモードでは、プリンターは、実行中のバンドの印刷を中断してクリーニングを行います。 ターポリンのような、ヒーター温度の影響を受けにくいメディアを使用する場合に選択してください。 クリーニング後、プリンターは、中断していた印刷の残りを開始します。 モード2よりもクリーニング前と後の印刷のつなぎ目が合いやすくなります。しかしながら、つなぎ目前後で色合いが変わる可能性があります。

ここでは、メディア番号1に登録されているメディアのクリーニングを「モード2」にする方法を例にして説明します。

1

本機をオフラインにし、∨キーを押す

2

キーを数回押して、「#クリーニングモード」を選択する

3

キーを押す

4

キーを押す

5

キーを押す

#クリーニング゛モード゛
>01：モード゛2

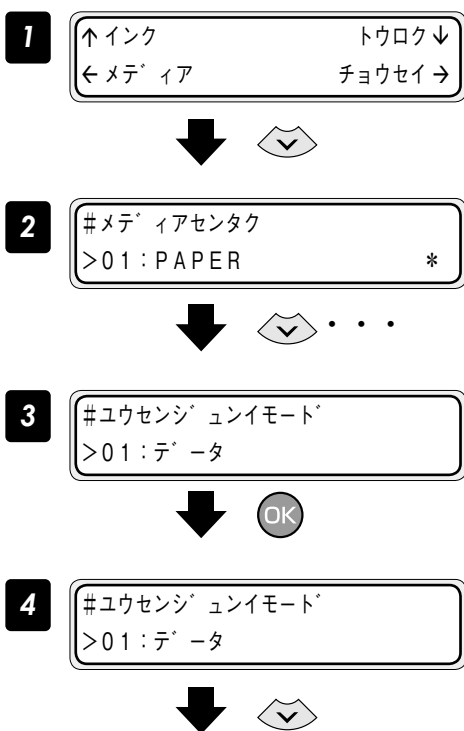
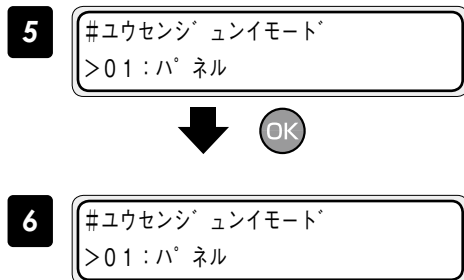
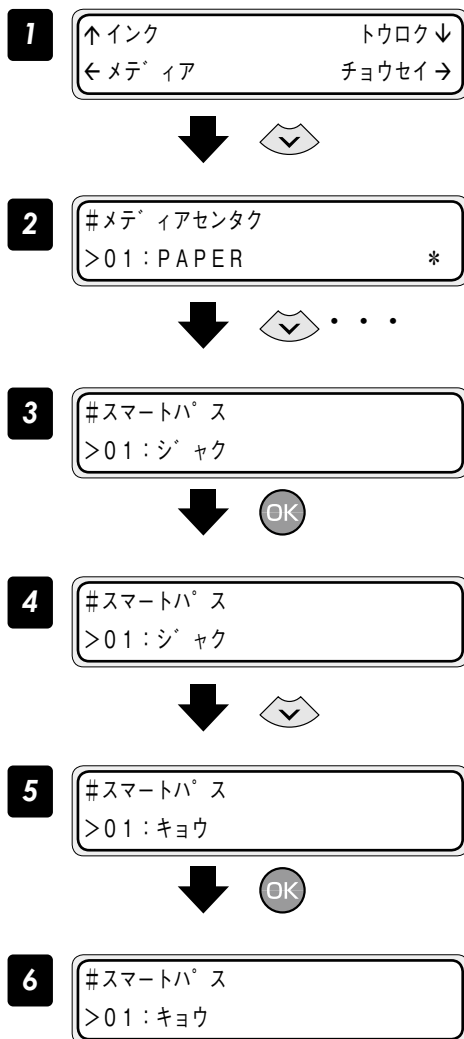
◆スマートパス、濃度、および印刷方向を、プリンター側で設定したい

RIP で設定したスマートパス、濃度、および印刷方向を無効にし、プリンター側の設定で印刷したい。

■ 優先順位　モードを、パネルにする。

1

本機をオフラインにして、キーを押す

2

キーを数回押して、「#ユウセンジュンイモード」を選択する

3

OK キーを押す

4

キーを押す

5

6

■ スマートパスを、設定（例えば、強）する。

1

本機をオフラインにして、 キーを押す

2

キーを数回押して、「#スマートパス」を選択する

3

OK キーを押す

4

キーを 2 回押す

5

OK キーを押す

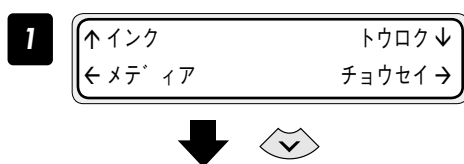
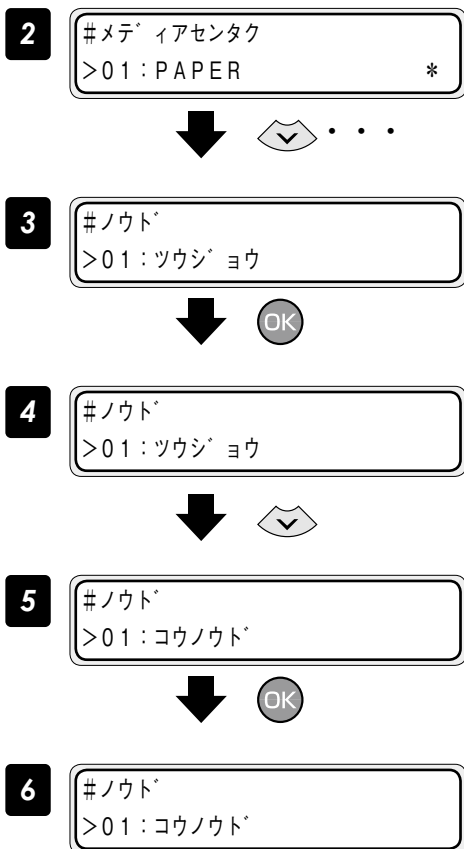
6

#スマートパ゜ス
>01：キョウ

■ 濃度を、設定（例えば、高濃度）する。

1

本機をオフラインにして、 キーを押す

2

キーを数回押して、「＃ノウド」を選択する

3

4

5

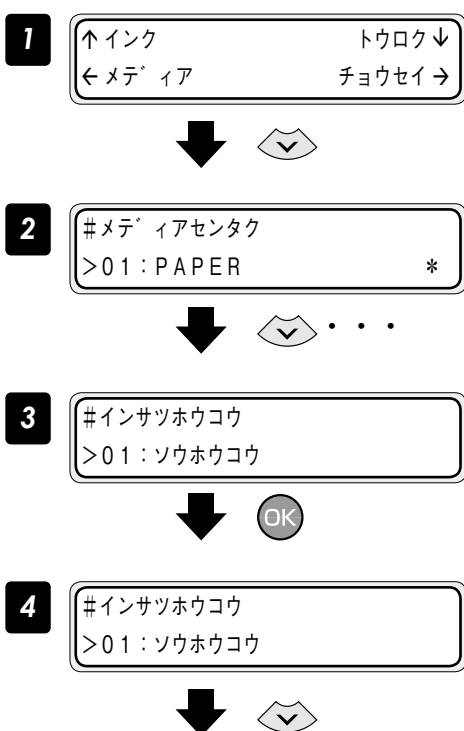
6

#ノウド
>01：コウノウド

■ 印刷方向を、設定（例えば、片方向）する。

1

本機をオフラインにして、キーを押す

2

キーを数回押して、「＃インサツホウコウ」を選択する

3

OK キーを押す

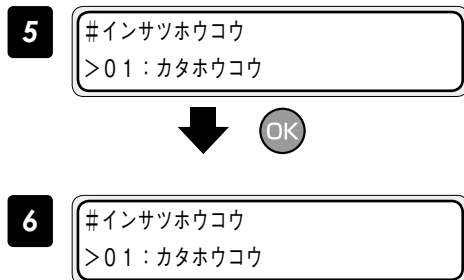
4

キーを 2 回押す

5

OK キーを押す

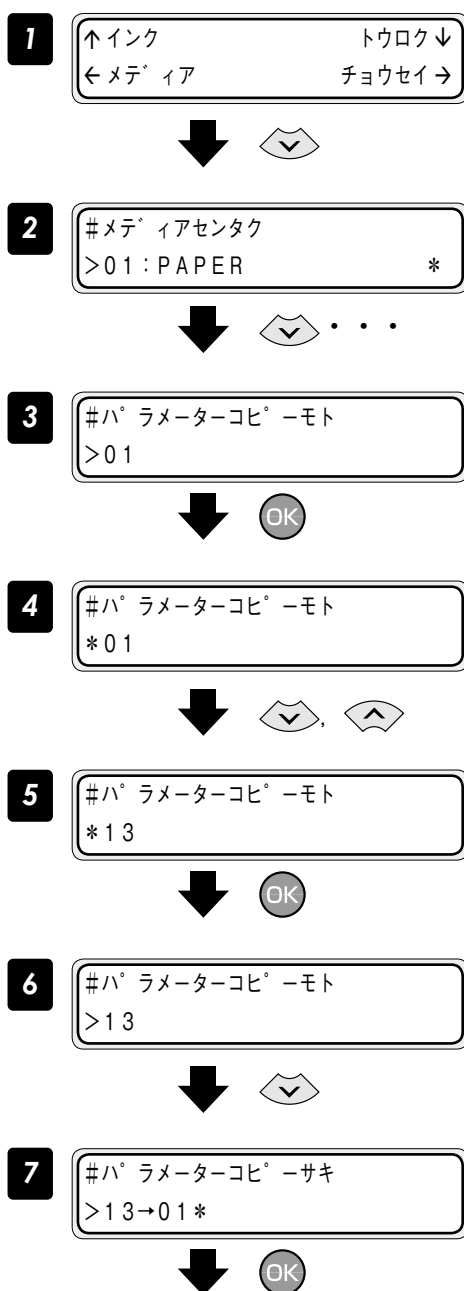
6

#インサツホウコウ
>01：カタホウコウ

◆登録されているメディアをコピーしたい

ここでは、メディア番号 13 番に登録されているパラメーターをメディア番号 20 番にコピーする方法を一例にして説明します。

1

本機をオフラインにして、∨ キーを押す

2

∨ キーを数回押して、「#パラメーターコピーモト」を選択する

3

OK キーを押す

4

∨ , ∧ キーを押してコピー元を選択する

コピー元のメディアを選択します。コピー元番号は、登録されている番号のみが表示されます。

CANCEL キーを押すと、**3** に戻ります。

5

#パラメーターコピーモト
＊13

OK キーを押す

CANCEL キーを押すと、**3** に戻ります。

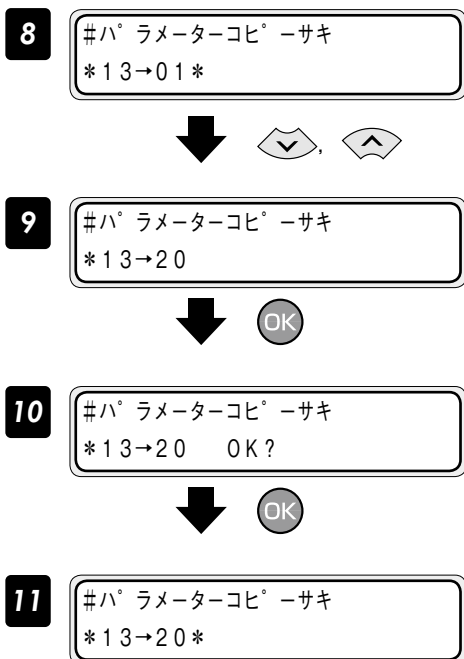
6

#パラメーターコピーモト
>13

∨ キーを押す

7

OK キーを押す

8

キーを押してコピー先を選択する

(コピー先番号は、01～20まで表示します)

コピー先が登録済みの場合、番号の後に*が表示されます。

9

OK キーを押す

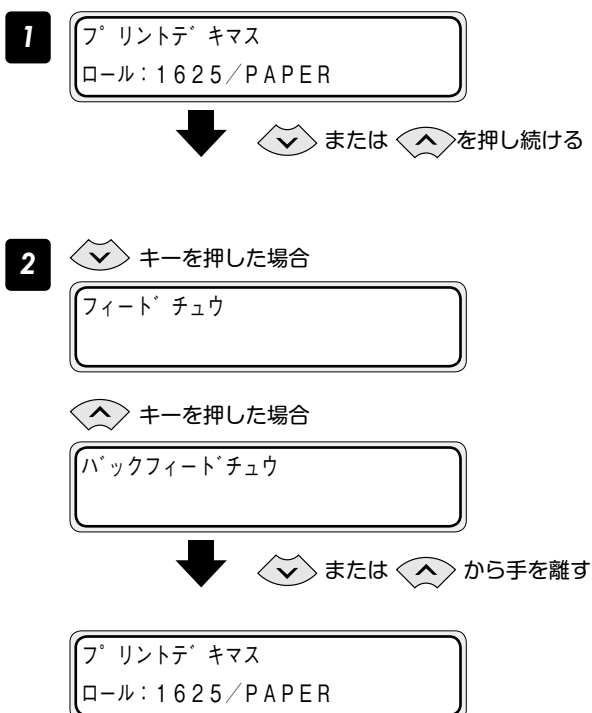
10

OK キーを押す

11

コピー完了

◆メディアを送りたい／戻したい

■ オンライン状態（アイドルモード）でメディアを送る／戻す

1

キーまたは キーを押し続ける

メディアを送りたい場合は、 キーを押します。

メディアを戻したい場合は、 キーを押します。

(シートメディアを使用の場合は、排紙されます。)

2

キーを押した場合

キーまたは キーから手を離す

メディアの送り／戻しが止まり、オンライン状態（アイドルモード）表示に戻ります。

キーを押した場合

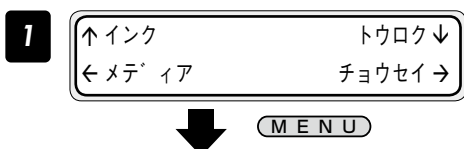
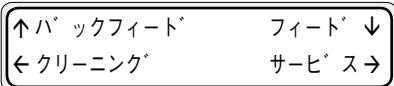
フ゜リントテ゛キマス
ロール:1625/PAPER

■ オフラインにしてメディアを送る／戻す

1

本機をオフラインにして、MENU キーを押す

2

```
↑バ゛ックフィード゛        フィード゛↓
←クリーニング゛          サービ゛ス→
```

∨ または ∧ を押し続ける

∨ キーまたは ∧ キーを押し続ける

メディアを送りたい場合は、∨ キーを押します。

メディアを戻したい場合は、∧ キーを押します。
（シートメディアを使用の場合は、排紙されます。）

3

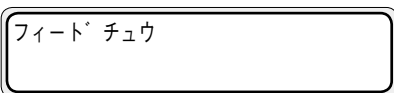
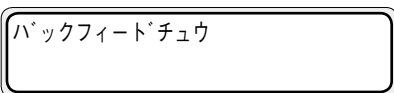
∨ キーを押した場合

```
フィード゛チュウ
```

∧ キーを押した場合

```
バ゛ックフィード゛チュウ
```

∨ または ∧ から手を離す

```
↑バ゛ックフィード゛        フィード゛↓
←クリーニング゛          サービ゛ス→
```

∨ キーまたは ∧ キーから手を離す

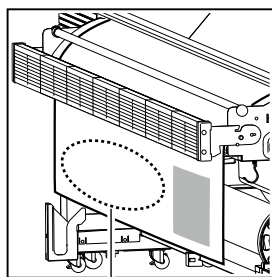
メディアの送り／戻しが止まり、オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

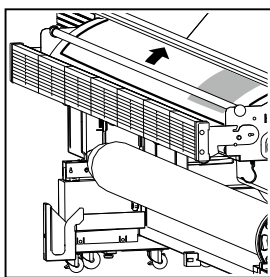
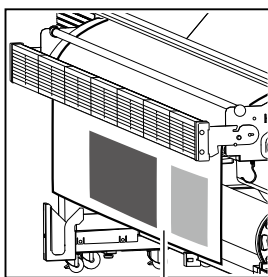
⚠注意

◆ 給紙装置は、長いバックフィードには対応していません。長い距離をバックフィードさせる時は、供給側のメディアのたるみ位置が徐々に下降するようにしてください。たるみが下がり過ぎるとエラーが発生しますので注意してください。
また、巻き取り装置はバックフィードに対応していません。巻き取り装置を使用の際には、バックフィードを行わないでください。

◆印刷の書き出し位置を移動させたい

一度印刷したメディアを巻き戻し、印刷の開始原点を設定し直して余白部分に印刷することによって、余白部分を有効に活用することができます。

（1回目の印刷）

余白部分

（メディアの戻し）

（2回目の印刷）

ベース(印刷の開始原点)
に設定

⚠注意

◆ この作業はできるだけ短時間で行ってください。短時間で行えなかった場合は、プリントヘッドが乾燥し、吐出不良を起こす可能性があるので、クリーニングを行ってください。

1

```
ハ゛ックフィート゛チュウ
```

メディアを戻す

（📖 37 ページの「◆メディアを送りたい／戻したい」）

⚠注意

- ◆ メディアを戻す際は、印刷済みの画像イメージが充分に乾いた状態で行ってください。
  乾燥が不充分な状態で本機能を使用すると、1 回目の印刷画像イメージが損なわれる場合があります。

2

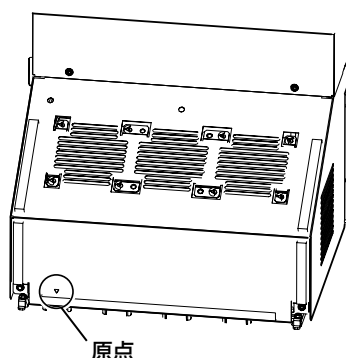
```
フ゜リントテ゛キマス
ロール：1625／PAPER
```

〈 キーを 1.5 秒押し続ける

キャリッジが移動し、ベース設定可能状態になります。

キャリッジカバー前面左下の「▽マーク」を原点にする位置に合わせてください。

3

```
ヘ゛ースセッテイ
キャリッシ゛イト゛ウチュウ
```

〈, 〉 キーを押して、原点に設定したい位置までキャリッジを移動させる

4

```
ヘ゛ースセッテイ
*OK?
```

OK キーを押してベース設定を確定する

キャリッジが戻り、印刷可能状態（オンライン状態（アイドルモード）表示）になります。

```
ヘ゛ースセッテイチュウ
シハ゛ラクオマチクタ゛サイ
```

```
フ゜リントテ゛キマス
ヘ゛ース：1625／PAPER
```

設定した原点を解除するには、アイドルモードで 〉 キーを 1.5 秒押し続けます。

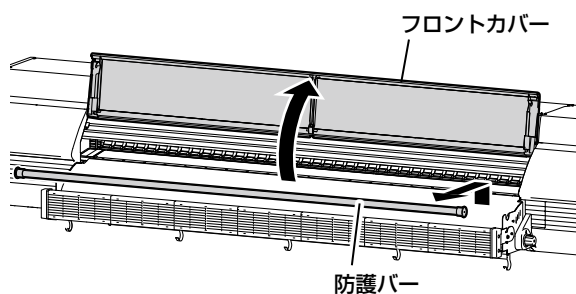
または、加圧操作ノブを上げると解除します。

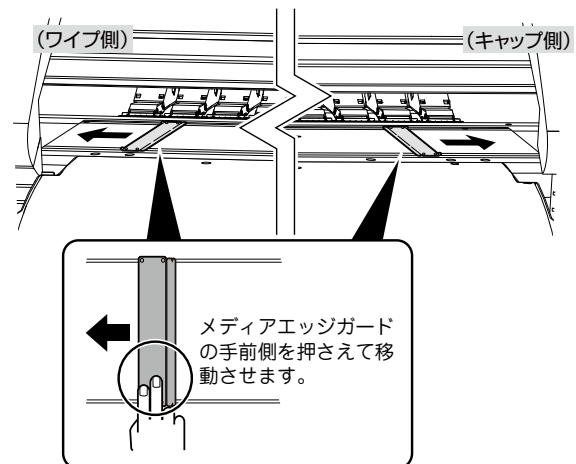
解除すると、「ベース」から「ロール」表示に戻ります。

<解除した場合の表示>

```
フ゜リントテ゛キマス
ロール：1625／PAPER
```

◆シート（カット）メディアに印刷したい

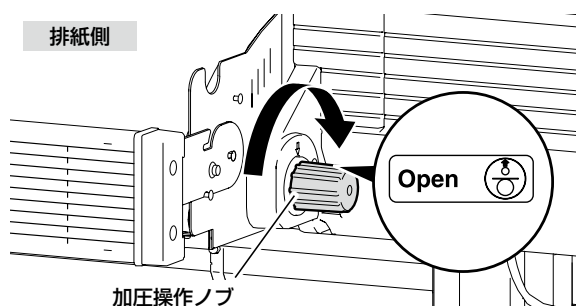
1

防護バーを取り外し、フロントカバーを開ける

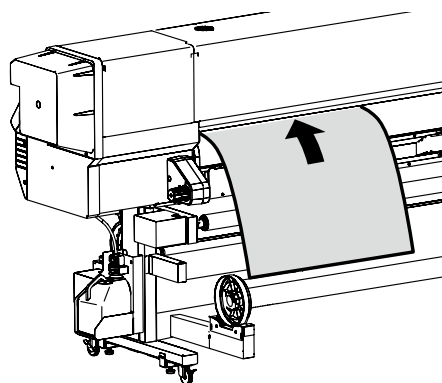
2

メディアエッジガードを両サイドに移動させておく

メディアエッジガードがメディアの下にならないようによけておきます。メディアエッジガードの手前側を押さえて移動させてください。

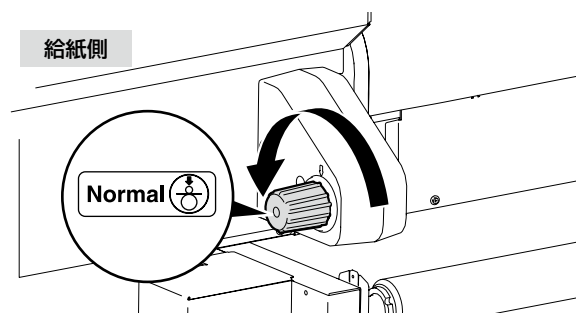
⚠注意

- ◆ メディアエッジガードは、必ず手前側を押えて移動させてください。
  プレートのエッジ部分を強く押えて指を滑らせると怪我をする恐れがあります。

3

加圧操作ノブを回して、「Open」に合わせる

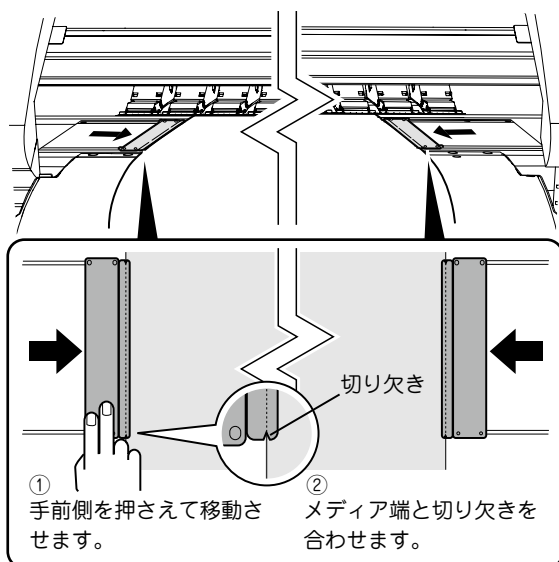
4

メディアの先端を給紙部に挿入する

給紙センサーがかくれるように、シートメディアを給紙部に差し込みます。

5

加圧操作ノブを回して、「Normal」に合わせる

再度確認してください

- ◆ プラテン上のメディアに浮きやシワがないか確認してください。

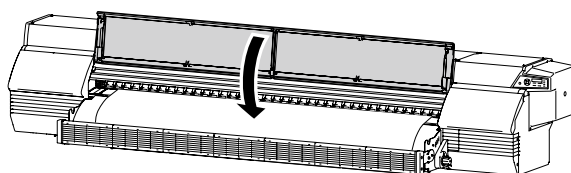
6

メディアエッジガードをセットする

① メディアエッジガードの手前側を押さえながら移動させます。
② メディア端とメディアエッジガードの切り欠きを合わせます。

メディアエッジガードがメディアの下に入り込んでいたり、厚いメディアを無理に差し込んで引っかかったりしていないか確認します。

⚠注意

- ◆ **メディアエッジガードを使用しないと、メディアジャムが起こる場合があります。**
- ◆ **メディアエッジガードは、必ず手前側を押えて移動させてください。**
  プレートのエッジ部分を強く押えて指を滑らせると怪我をする恐れがあります。

7

フロントカバーを閉めて、防護バーを取り付ける

8

エッジ゛ガ゛ード゛カクニン
＊OK？

OK キーを押す

9

メデ゛ィアヲセンタクシテクダ゛サイ
メデ゛ィアセンタク：ロール

メデ゛ィアセンタク：シート

「シート」を選択し、OK キーを押す

10

シュルイヲセンタクシテクダ゛サイ
シュルイセンタク：PAPER

シュルイヲセンタクシテクダ゛サイ
シュルイセンタク：Banner

メディアの種類を選択し、OK キーを押す

∧ キー，∨ キーで登録されているメディアの種類を選択します。

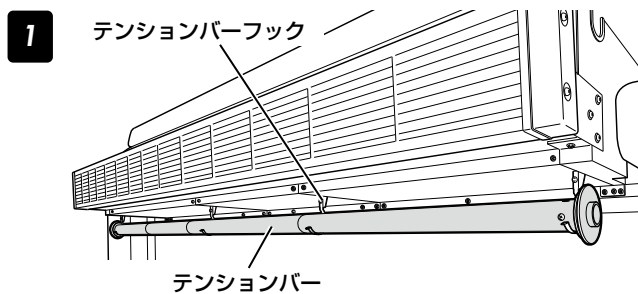
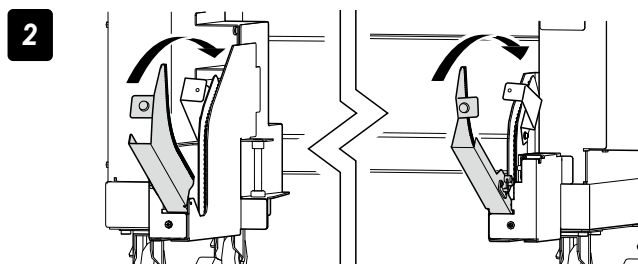
ここでは「ターポリン」を例にして説明します。

11

メデ゛ィアセット
＊OK？

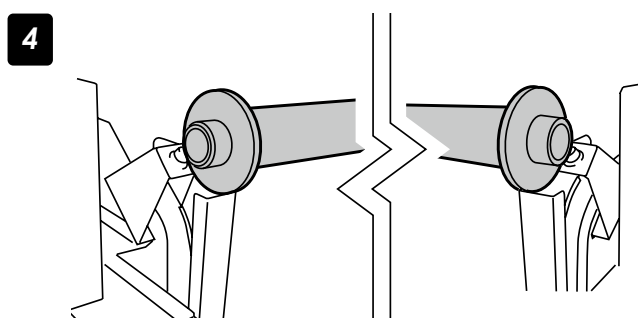
メデ゛ィアセットチュウ
シバ゛ラクオマチクダ゛サイ

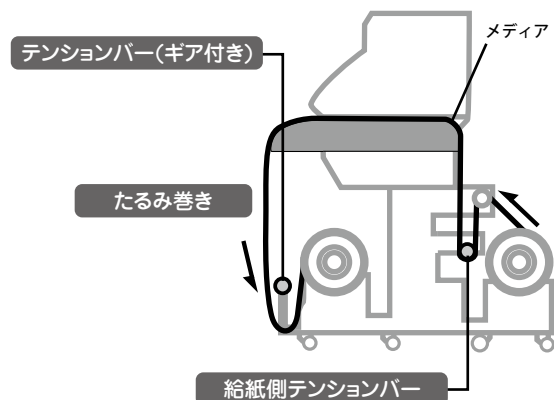
OK キーを押す

◆たるみ巻き時のスキューを防止したい

1 テンションバーをテンションバーフックに掛けておく

2 テンションバーガイドのカバーを閉じる

カバーを閉じ、ツマミネジを締めてカバーを固定します。

3 メディアをセットする

「基本操作ガイド」の「**◆メディアをたるみ巻きで巻き取る場合**」を参照してください。

4 閉じたテンションバーガイドの上にテンションバー (ギア付き) をのせる

テンションバー (ギア付き) が落下しないように注意してのせます。

5 印刷する

プリンターの設定をする

◆警告音を鳴らさないようにしたい

日常メンテナンスやヘッド高さ調整でプリントヘッドがキャップから外れた状態や、印刷中のメディアジャムエラー等でプリントヘッドがキャップできない状態時に警告音を消すことができます。

1

MENU ×2

本機をオフラインにして、MENU キーを2回押す

2

キーを押す

3

キーを数回押して、「#ケイコクオン(キャップオープン)」を選択する

4

キーを押す

5

キーを押す

6

キーを押す

#ケイコクオン（キャップオープン）
>オフ

◆システム F/W をアップデートする

本機の機能向上のため、システム F/W のアップデートをすることが可能です。
システム F/W のアップデートをするときは、システム F/W に添付の資料にしたがってアップデートを行ってください。

クリーニングオプション

◆プリントヘッドを選んでクリーニングしたい

1

```
↑インク              トウロク↓
←メデ゛ィア          チョウセイ→
```

(MENU)

本機をオフラインにして、(MENU) キーを押す

2

```
↑バ゛ックフィード゛      フィード゛↓
←クリーニング゛          サービ゛ス→
```

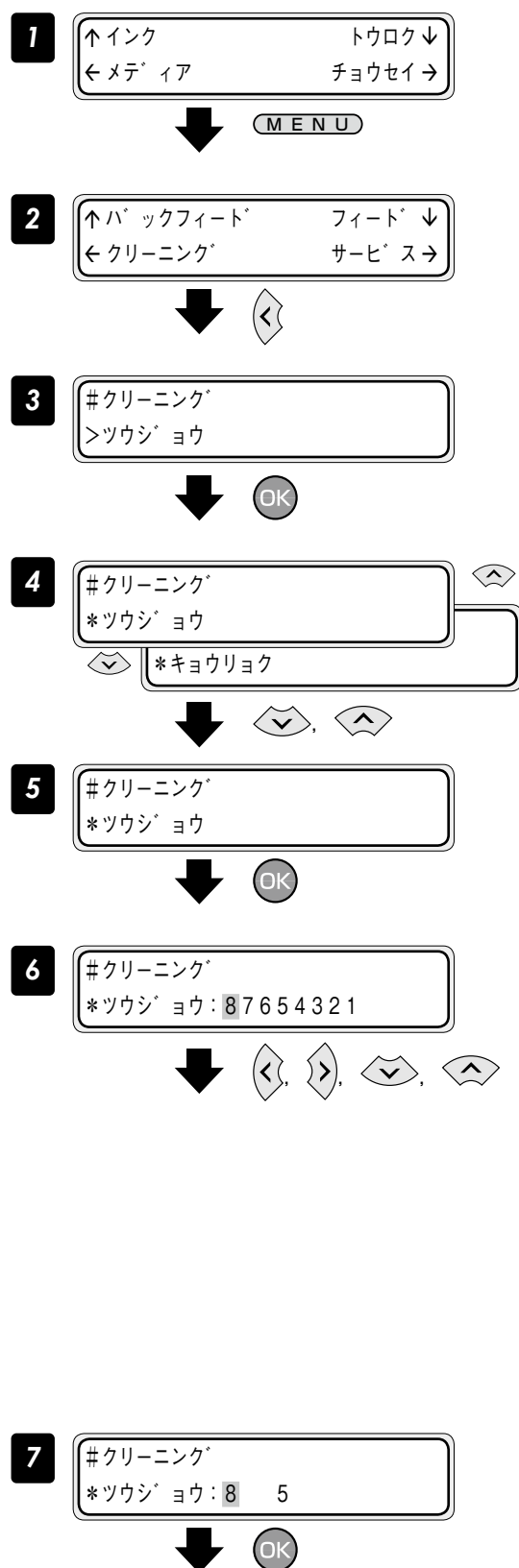
〈 キーを押す

3

```
#クリーニング゛
>ツウジ゛ョウ
```

OK キーを押す

4

```
#クリーニング゛
*ツウジ゛ョウ
*キョウリョク
```

∧ , ∨ キーでクリーニング選択オプションを選ぶ

5

```
#クリーニング゛
*ツウジ゛ョウ
```

OK キーを押す

6

```
#クリーニング゛
*ツウジ゛ョウ:87654321
```

クリーニングするプリントヘッドを選ぶ

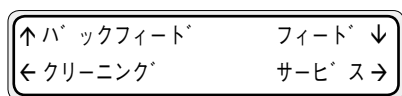
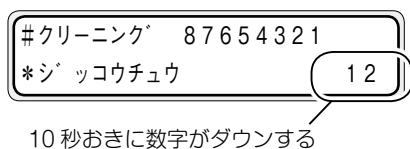
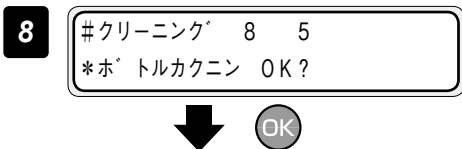
① 〈, 〉キーでプリントヘッド番号を選択します。

② ∧, ∨ キーで番号を表示または非表示にします。クリーニングしたいプリントヘッド番号を表示させてください。

7

```
#クリーニング゛
*ツウジ゛ョウ:8   5
```

OK キーを押す

左の例は、8番プリントヘッドと5番プリントヘッドをクリーニングします。

8

OK キーを押す

廃インクボトルが一杯になっていないことを目視で確認します。

クリーニング開始

クリーニング動作は数分かかります。

クリーニングが開始されると、所要時間が表示されます。所要時間は 10 秒おきにカウントダウンします。

9

#クリーニング
>ツウジョウ

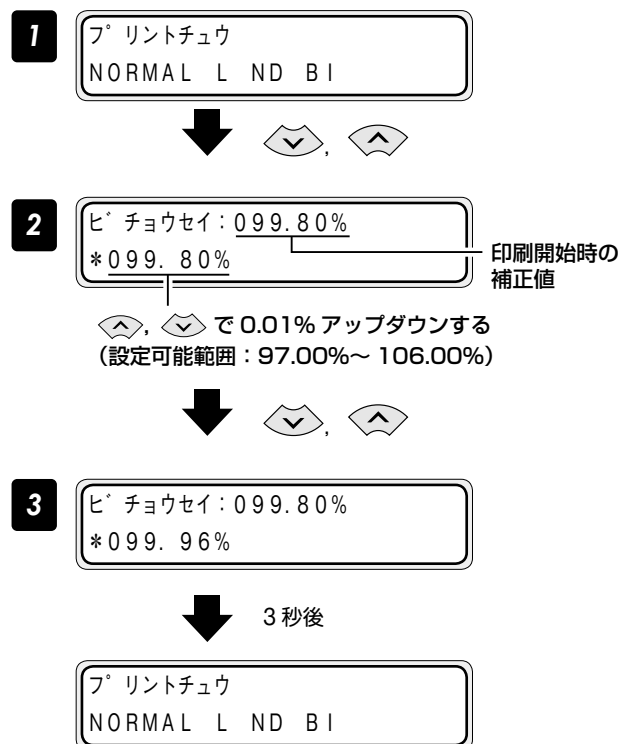
キーを押す

オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

こんなときは
調整する
メニューツリー
索引

メディア送り補正値の管理

◆印刷中にメディア送り補正値を変更する

1

「プリントチュウ」表示中に、∨キーまたは∧キーを押す

2

ビ チョウセイ：099.80%
＊099. 80%

印刷開始時の補正値

∧, ∨ で 0.01% アップダウンする
（設定可能範囲：97.00%〜 106.00%）

∧，∨ キーで補正値を変更する

補正値を変更した時点で印刷に反映されます。

印刷開始時の補正値の表示は、印刷終了時まで変わりません。ただし、クリーニングモードを「モード２」に設定している場合は、クリーニング後に表示が変わります。

3

ビ チョウセイ：099.80%
＊099. 96%

３秒後

プ リントチュウ
NORMAL L ND BI

変更した値は登録され、以降も保持されます。

３秒間キー操作がない場合、元の表示に戻ります。

印刷条件について

本機には、
・5 種類の印刷モード設定
・3 種類のスマートパス設定
のマトリックス構成に加え、
・2 種類の濃度設定
があります。メディアの種類や生産性、画質に合わせてお選びください。

通常は、印刷モード「ヒョウジュン」、スマートパス「チュウ」、濃度「ツウジョウ」を推奨
◆他のモード、設定は生産性や画質を重視する場合に使いください。

印刷モードを変更した場合は…
◆メディア送り補正値を再調整してください（79 ページ）

◆「インサツモード」設定

印刷解像度を設定します。
解像度が低いほど、高い生産性を発揮することができます。
解像度が高いほど、粒状感のない高精細な画質を得ることができます。

インサツモード設定	印刷解像度	特徴
サイコウソク（最高速）	360dpi x 360dpi x DDP	最速モードです。生産性を重視する場合にお使いください。
コウソク（高速）	360dpi x 540dpi x DDP	速度と画質のバランス型のモードです。
ヒョウジュン（標準）	540dpi x 540dpi x DDP	標準モードです。通常はこのモードをお使いください。
コウガシツ（高画質）	720dpi x 720dpi	速度より、画質を重視するモードです。
サイコウガシツ（最最高速）	900dpi x 900dpi	もっとも高精細な画質を得られるモードです。

⚠注意

◆ **推奨のインサツモード設定は「ヒョウジュン」です。他のモードは生産性や画質などのお客様が重視する目的に応じて使い分けてください。**

◆「スマートパス」設定

印刷画質（ムラなど）を改善するための自動補正の強度を設定します。弱、中、強、の順に補正強度（改善効果）が増します。

スマートパス設定	特徴
ジャク（弱）	各印刷モードで、最高の生産性が発揮できます。画質改善効果はやや落ちます。
チュウ（中）	通常はこの設定を選択してください。速度と画質のバランス型です。
キョウ（強）	「チュウ」でも画質不良の改善ができない場合に選択してください。より強力な画質改善効果を得ることができます。

⚠注意

- ◆ **推奨のスマートパス設定は「チュウ」です。他の設定は生産性や画質などのお客様が重視する目的に応じて使い分けてください。**
- ◆ **「ジャク」設定は、「チュウ」設定に比べて印刷速度が約 50% 向上します。**
- ◆ **「キョウ」設定は、「チュウ」設定に比べて印刷速度が約 25% 低下します。**

◆「ノウド」設定

印刷濃度を「ツウジョウ（通常)」と「コウノウド（高濃度)」の 2 種類から選択できます。
各印刷モードについて、「ツウジョウ」と「コウノウド」の最大濃度は「ツウジョウ」を 1.0 としたときに以下のような関係になります。

インサツモード設定	ノウド設定	
	ツウジョウ	コウノウド
サイコウソク	1.0	1.0 （*1）
コウソク	1.0	1.3
ヒョウジュン	1.0	1.5
コウガシツ	1.0	2.0
サイコウガシツ	1.0	2.0

*1　インサツモードが「サイコウソク」の場合は、「コウノウド」を設定しても濃度は変わりません。

⚠注意

- ◆ **「コウノウド」を選択しても、「ツウジョウ」と比べて印刷速度は低下しません。**
- ◆ **「コウノウド」はインク量が多いため、にじみやインク乾燥不良の原因となることがあります。その場合はより遅い印刷速度で印刷してください。**

◇ 印刷速度は「インサツモード」と「スマートパス」設定の組み合わせによりおよそ次の表のようになります。
◇ 使用するメディア幅などの条件によっては本速度より低下する場合があります。

IP-7900 の印刷速度（*1）

インサツモード設定	スマートパス設定（*3）		
	ジャク	チュウ	キョウ
サイコウソク	50.0 m^2/h	39.4 m^2/h	28.9 m^2/h
	100.0 m^2/h	79.5 m^2/h	59.4 m^2/h
コウソク	39.3 m^2/h	25.9 m^2/h	18.9 m^2/h
	79.6 m^2/h	52.7 m^2/h	39.3 m^2/h
ヒョウジュン	28.6 m^2/h	18.1 m^2/h	13.1 m^2/h
	57.1 m^2/h	37.1 m^2/h	27.6 m^2/h
コウガシツ	15.2 m^2/h	9.8 m^2/h	7.0 m^2/h
	31.5 m^2/h	20.6 m^2/h	15.2 m^2/h
サイコウガシツ	9.4 m^2/h	6.0 m^2/h	4.2 m^2/h
	20.0 m^2/h	13.0 m^2/h	9.4 m^2/h

IP-7700 の印刷速度（*2）

インサツモード設定	スマートパス設定（*3）		
	ジャク	チュウ	キョウ
サイコウソク	50.0 m^2/h	35.1 m^2/h	25.7 m^2/h
	100.0 m^2/h	70.9 m^2/h	53.0 m^2/h
コウソク	35.0 m^2/h	23.0 m^2/h	16.8 m^2/h
	71.0 m^2/h	46.9 m^2/h	35.0 m^2/h
ヒョウジュン	26.4 m^2/h	16.6 m^2/h	12.0 m^2/h
	52.7 m^2/h	34.2 m^2/h	25.4 m^2/h
コウガシツ	13.7 m^2/h	8.8 m^2/h	6.3 m^2/h
	28.5 m^2/h	18.6 m^2/h	13.7 m^2/h
サイコウガシツ	8.6 m^2/h	5.5 m^2/h	3.8 m^2/h
	18.4 m^2/h	11.9 m^2/h	8.6 m^2/h

*1　印刷速度の数値は、2642mm（104 インチ）幅のロールに全幅でプリントした場合の速度を、上段：8 色機、下段：4 色機という形式で記載しています。
*2　印刷速度の数値は、1900mm（74 インチ）幅のロールに全幅でプリントした場合の速度を、上段：8 色機、下段：4 色機という形式で記載しています。
*3　高濃度印刷の場合は、スマートパスは全て、「キョウ」で印刷されます。
また、環境温度が２０℃度未満になると、スマートパス「ジャク」は、「チュウ」に自動的に切り替わります。

こんな症状が出たら

ここでは、お客様が本機を使って、より良い画質を得るためのヒントを説明します。印刷物の症状に従って対処してください。
1 症状に対して複数の対処方法が記載してある場合、効果が大きいと予想される方法から順に記載しています。１番目から優先に行い、改善効果を確認する事を推奨します。（記載してある全ての対処方法を実行しなければ改善しないという事ではありません。）

◆印刷が薄い

原　因	対処方法
● ノウドの設定が合っていない	電飾メディアなどの高濃度印刷を必要とする場合には、ノウドを「コウノウド」に設定してください。（ 35 ページ）
● 使用環境が本機の仕様外である	室温を 15℃以上（推奨温度：20 ～ 25℃）にあげ、本機を十分に暖気してください。
● メディアの選択が合っていない	メディアの選択を確認してください。（ 基本操作ガイド 54 ページ）

◆印刷開始時に印刷抜けが発生する

原　因	対処方法
● 使用温湿度範囲外	使用温湿度範囲内で使用してください。（基本操作ガイド 17 ページ）
● ノズル面が通過する経路上にゴミが付着している	プラテン上、メディアエッジガード、スピットケース、キャッピングユニット、ワイパーブレードの順に確認し、ゴミ・汚れ等を取り除いてください。
	メディアのほつれた糸クズがプリントヘッドにこずれて印刷抜けが起こることがあります。糸クズのないメディアに交換してください。
	排気ファンフィルタが目詰まりしていないか確認してください。目詰まりしていたら交換してください。（基本操作ガイド 84 ページ）

◆メディアにシワ・カールが発生する

原　因	対処方法
● 使用温湿度範囲外	① 使用温湿度範囲内で使用してください。 ※ メディアによっては、使用温湿度範囲内でもシワが発生します。 ② 実績のあるメディアを使用してください。
● メディアが環境に馴染んでいない	メディアの保管環境とプリンターの使用環境が異なる場合は十分馴染ませてください。 ※ 馴染ませる時間は、メディアの種類や保管環境により異なります。
● メディアのセット不良	以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが垂直にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。
● ヒーターの熱によるシワ	① ヒーター加熱中にシワが入る場合、ヒーター加熱を事前に行ってからメディアをセットしてください。 ② ヒーター温度を変更してください。3ヒーターとも一律に 5℃刻みで上下させてください。(注 1) ③ 実績のあるメディアを使用してください。
● メディアのカール	① メディアの縦方向（X 方向）にカールが発生するメディアは使用しないでください。 ② メディアの左右端（Y 方向）のカールが発生し、メディアエッジガードと吸着ファンで抑えきれないメディアは使用しないでください。 ③ 実績のあるメディアを使用してください。

(注 1)　メディア送り補正値の再調整が必要です。

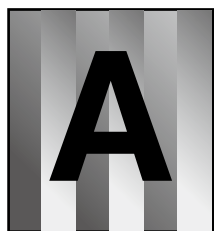
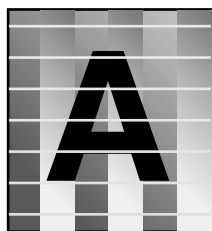
こんなときは

調整する

メニューツリー

索引

◆印刷物に白スジが入る

【基本イメージ】

【症状A】

【原因】
メディア送り補正値が合っていない

【症状B】

【原因】
プリントヘッドのノズル詰まり

【症状C】

【原因】
メディアとの相性が悪い

【参考】
カラーストライプをつけると全色で白スジが発生

【参考】
カラーストライプをつけると一部の色で白スジが発生

原　因	対処方法
【症状Ａ】 ● メディア送り補正値が合っていない	メディア送り補正値を合わせてください。 ※巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。
【症状Ａ】 ● メディア送りの精度が悪い / 安定しない	① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。（注 1） ③ スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。（注 1),（注 2） ④ より遅い印刷モードに変更してください。（注 1),（注 2）
【症状Ｂ】 ● プリントヘッドのノズル詰まり	① ノズルプリントを印刷し、抜けノズルをノズルマップで入力してください。 （📖基本操作ガイド 77 ページ） ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ③ スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。 ④ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 ⑤ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、エッジガード、キャリッジの下面、プリントヘッド先端部の左右両側の清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。 ⑥ キャップＣＬジュウテンを行ってください。 ⑦ ヘッドクリーニングキット（📖基本操作ガイド 108 ページ）で、プリントヘッド面を清掃してください。 ※ ヘッドクリーニングキット付属説明書を参照してください。 ◇ カラーストライプをつけて印刷する事で印刷抜けが発生しにくくなります。 （📖 29 ページ）

【症状C】 ● メディアとの相性が悪い （ドットが広がりにくいメディア）	① ヒーター温度を下げてください。3ヒーターとも一律5℃刻みで下げてください。（注1） ※ 印刷する前にヒーター温度が変更した温度まで下がっていることを確認してください。 ※ メディアによってはヒーター温度を上げて効果がある場合があります。 ② スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。（注1），（注2） ③ より遅い印刷モードに変更してください。（注1），（注2） ④ 実績のあるメディアで印刷してください。

（注1） メディア送り補正値の再調整が必要です。
（注2） 印刷速度は変わります。

◆印刷物に黒スジが入る

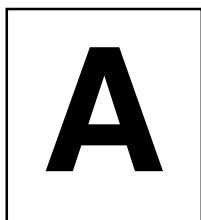
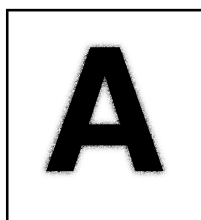
原　因	対処方法
【症状A】 ● プリントヘッドのまわりが汚れている	① プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ② スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。 ③ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 ④ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、エッジガード、キャリッジの下面、プリントヘッド先端部の左右両側の清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。 ⑤ キャップＣＬジュウテンを行ってください。 ⑥ ヘッドクリーニングキット（**基本操作ガイド 108 ページ**）で、プリントヘッド面を清掃してください。 ※ ヘッドクリーニングキット付属の説明書を参照してください。
【症状B】 ● 双方向印刷によるインク吹出し順の違い	① スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。（注1），（注2） ②より遅い印刷モードに変更してください。（注1），（注2） ③片方向で印刷してください。（注2） ④実績のあるメディアで印刷してください。
【症状C】 ● メディア送り補正値が合っていない	メディア送り補正値を合わせてください。 ※ 巻き取り方式がたるみ巻き／テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。

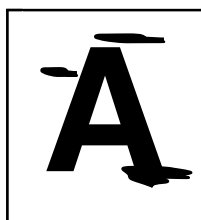
【症状C】 ● メディア送りの精度が悪い / 安定しない	① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。(注1) ③ スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。(注1),(注2) ④ より遅い印刷モードに変更してください。(注1),(注2)
【症状D】 ● インクの乾きが遅い (モタリング(ブリーディング)が発生している)	① ヒーター温度を上げてください。3ヒーターとも一律5℃刻みで上げてください。(注1) ※ プリントする前にヒーター温度が変更した温度まで上がっていることを確認してください。 ② スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。(注1),(注2) ③ より遅い印刷モードに変更してください。(注1),(注2) ④ 片方向で印刷してください。 ⑤ 実績のあるメディアで印刷してください。 ⑥ RIP のプロファイルでインク量が少ないプロファイルを使用する。 ※ 使用するインク量が変わるので、色味も変わります。

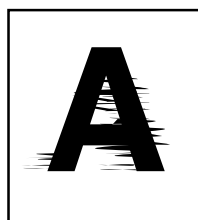
(注1) **メディア送り補正値の再調整が必要です。**

(注2) **印刷速度は変わります。**

◆印刷物に汚れが入る

【基本イメージ】

【症状A】

【原因】
インクのしぶき

【症状B】

【原因】
インクのボタ落ち

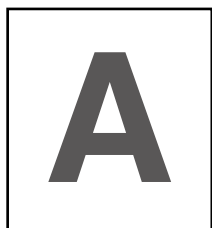
【症状C】

【原因】
プリントヘッドのこすれ

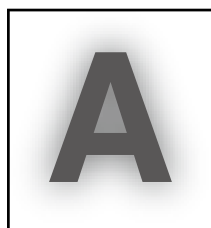
原　因	対処方法
【症状Ａ】 ● インクのしぶき	① 使用温湿度範囲内で使用していることを確認してください。 ②「ヘッドタカサチョウセイ」の値を確認して、0 より大きい場合は 0 にしてください。(注 3) ③ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、エッジガード、キャリッジの下面、プリントヘッド先端部の左右両側の清掃も忘れずに行ってください。 ④ クリーニング（キョウリョク）を行ってください。 ⑤ より遅い印刷モードに変更してください。(注 1), (注 2) ⑥ キャップＣＬジュウテンを行ってください。 ⑦ ヘッドクリーニングキット（**基本操作ガイド 108 ページ**）で、プリントヘッド面を清掃してください。 ※ ヘッドクリーニングキット付属の説明書を参照してください。 ⑧「ヘッドタカサチョウセイ」の値を下げて、ヘッド高さを下げてください。(注 3) ※ ヘッド高さは下げ過ぎないでください。メディアジャムが起こりやすくなります。
【症状Ｂ】 ● インクのボタ落ち	① 使用温湿度範囲内で使用していることを確認してください。 ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ③ スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。 ④ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 ⑤ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、エッジガード、キャリッジの下面、プリントヘッド先端部の左右両側の清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。 ⑥ キャップＣＬジュウテンを行ってください。 ⑦ ヘッドクリーニングキット（**基本操作ガイド 108 ページ**）で、プリントヘッド面を清掃してください。 ※ ヘッドクリーニングキット付属の説明書を参照してください。 ⑧ 静電気が発生しやすいメディアもあります。その場合、静電気によって、ノズル面に付着しているインク滴がインクのボタ落ちの原因となります。 ⑨ ターポリン系のメディアでは、ほつれた糸クズがプリントヘッドにこすれてインクが垂れることがあります。

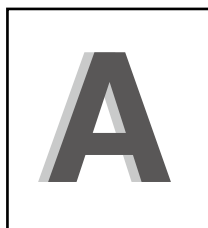
【症状C】 ● プリントヘッドのこすれ	① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ③ スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。 ④ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、エッジガード、キャリッジの下面、プリントヘッド先端部の左右両側の清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。 ⑤ キャップＣＬジュウテンを行ってください。 ⑥ ヘッドクリーニングキット（**基本操作ガイド 108 ページ**）で、プリントヘッド面を清掃してください。 ※ ヘッドクリーニングキット付属の説明書を参照してください。

（注 1） **メディア送り補正値の再調整が必要です。**
（注 2） **印刷速度は変わります。**
（注 3） **往復補正値の再調整が必要です。**

◆印刷物にニジミが入る

【 基本イメージ】

基本イメージ

【症状A】

【原因】
インクの乾きが遅い／インク量が多い

【 症状B】

【原因】
プリントヘッド位置のずれ／プリントヘッド往復位置のずれ

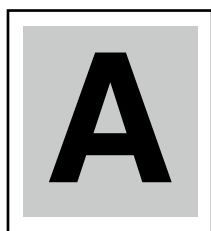
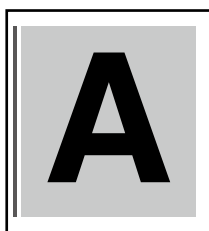
【 症状C】

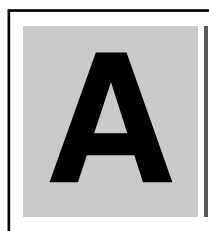
【原因】
メディア送り補正が合っていない

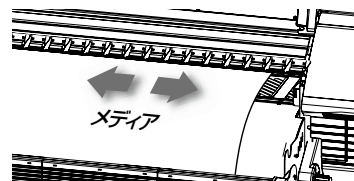
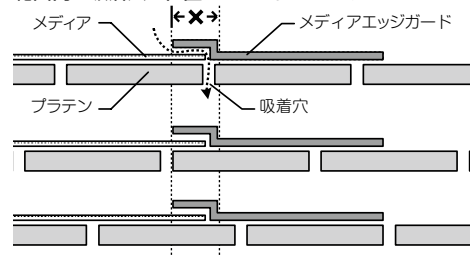
原　因	対処方法
【症状Ａ】 ● インクの乾きが遅い / インク量が多い	① ヒーター温度を上げてください。３ヒーターとも一律 5℃刻みで上げてください。(注 1) ※ プリントする前にヒーター温度が上がっていることを確認してください。 ② スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。(注 1), (注 2) ③ より遅い印刷モードに変更してください。(注 1), (注 2) ④ 片方向で印刷してください。 ⑤ ノウドを「コウノウド」に設定してる場合は「ツウジョウ」に変更してください。(📖 34 ページ) ⑥ 今までに実績のあるメディアで印刷してください。 ⑦ RIP のプロファイルでインク量が少ないプロファイルを使用してください。 ※ 使用するインク量が変わるので、色味も変わります。
【症状Ｂ】 ● プリントヘッド位置のずれ / プリントヘッド往復位置のずれ	① プリントヘッドの位置調整を行ってください。(📖 79 ページ) ② プリントヘッドの往復調整を行ってください。(📖 82 ページ)
【症状Ｃ】 ● メディア送り補正値が合っていない	メディア送り補正値を合わせてください。 ※ 巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、調整値が異なります。
【症状Ｃ】 ● メディア送りの精度が悪い / 安定しない	① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。(注 1) ③ スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。(注 1), (注 2) ④ より遅い印刷モードに変更してください。(注 1), (注 2)

(注 1)　メディア送り補正値の再調整が必要です。
(注 2)　印刷速度は変わります。

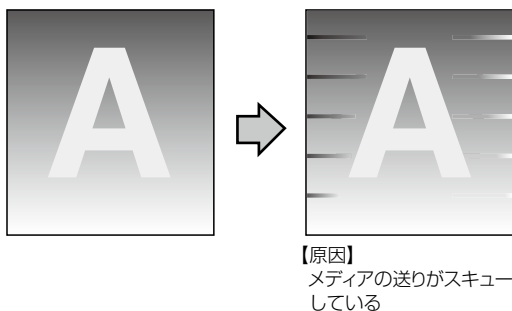
◆印刷物の端に縦スジが入る

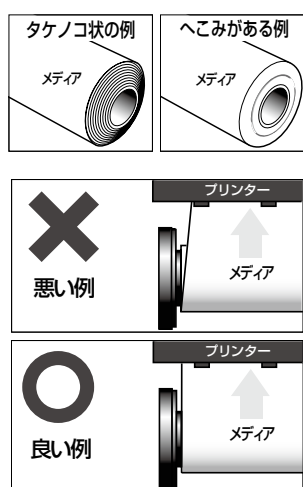
【基本イメージ】

【症状A】

【原因】
プラテン上、メディアの左端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある。

【症状B】

【原因】
プラテン上、メディアの右端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある。

原　因	対処方法
【症状A】【症状B】 ● プラテン上、メディアの端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある場合、メディアエッジガードとメディアの間から吐出インクの一部を吸い込み、縦スジが発生する場合がある。	プラテン上のメディアの端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍に位置しないように、メディアをずらしてください。

◆印刷物の左右で異なるスジが入る

【基本イメージ】

【原因】
メディアの送りがスキューしている

原　因	対処方法

● メディアの送りがスキューしている

① タケノコ状、へこみがないか、ロール仕立てを確認し、ロール仕立てが悪ければ、仕立ての良いロールと交換してください。

② 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。
・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。
・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。
・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。
・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。
・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。

③ 巻き取り側で巻きムラが発生していないか確認し、メディアの再セットと巻き取り装置への再セットを実施してください。

④ 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。(注1)

⑤ テンションバーの長さを変えてください。(注1)

⑥ 実績のあるメディアを使用してください

(注1) メディア送り補正値の再調整が必要です。

印刷抜け（ノズル詰まり）を回復させる

日常メンテナンスを実施し、「ノズルマップ」を設定した後も印刷抜けが発生する場合は、以下の作業を実施してください。

強力クリーニング

ツウジョウ（通常）クリーニングでも印刷抜けが回復しない場合に実施します。

フィルキャップ

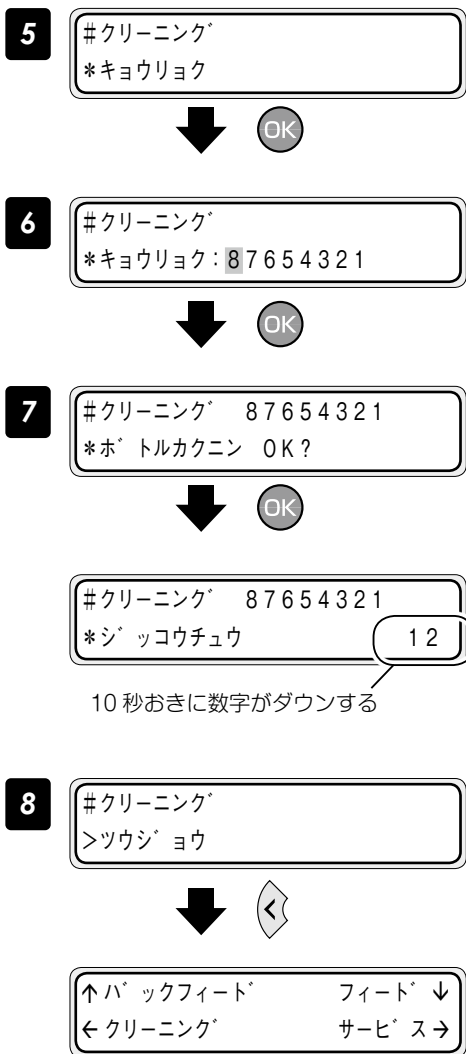
キャップ内にインクを充填してプリントヘッド（ノズル面）をインクで浸し、ノズル詰まりを解消させるために実施します。実施後、1 ～ 2 時間プリンターを放置します。

キャップＣＬ充填

キャップ内にワイプクリーニング液を充填してプリントヘッド（ノズル面）をワイプクリーニング液で浸し、ノズル詰まりを解消させるために実施します。実施後、一晩（12 時間～ 18 時間程度）本機を放置します。

ヘッドクリーニングキットによるクリーニング

ヘッドクリーニングキットに添付してある説明書にしたがって、ヘッドを洗浄してください。（通常は 2 ヶ月に 1 回を目安に実施します。）

◆強力クリーニング

1

```
↑インク          トウロク↓
←メテ゛ィア      チョウセイ→
```

↓ MENU

本機をオフラインにして、MENU キーを押す

2

```
↑ハ゛ックフィート゛   フィート゛↓
←クリーニング゛      サーヒ゛ス→
```

↓ <

< キーを押す

3

```
#クリーニング゛
>ツウシ゛ョウ
```

↓ OK

OK キーを押す

4

```
#クリーニング゛
*ツウシ゛ョウ
```

↓ ∨

∨ キーを押す

5

OK キーを押す

6

OK キーを押す

7

OK キーを押す

廃インクボトルが一杯になっていないことを目視で確認します。

クリーニング開始

クリーニング動作は数分かかります。

クリーニングが開始されると、所要時間が表示されます。所要時間は 10 秒おきにカウントダウンします。

8

< キーを押す

オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

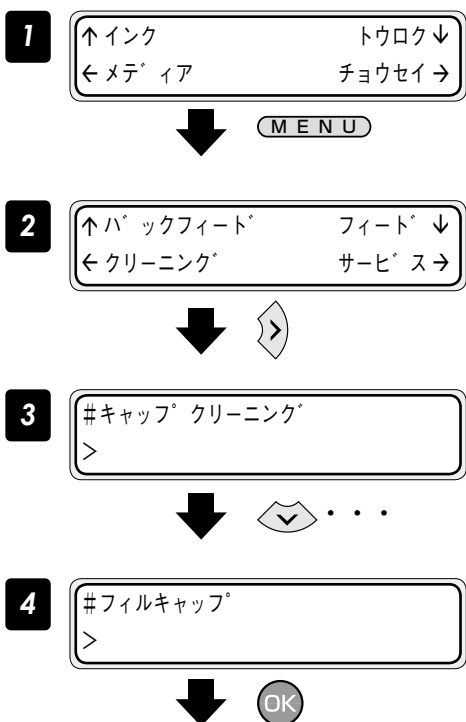
◆フィルキャップ

1

本機をオフラインにして、MENU キーを押す

2

> キーを押す

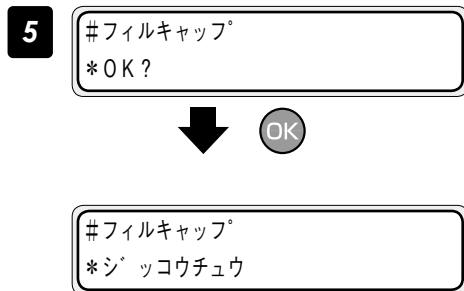
3

∨ キーを数回押して、「＃フィルキャップ」を選択する

4

OK キーを押す

5

OK キーを押す

#フィルキャップ゜
＊シ゛ッコウチュウ

１～２時間放置する

放置した後、印刷をする前にツウジョウクリーニングを実施してください。

◆キャップ CL 充填

1

↑インク　トウロク↓
←メデ゛ィア　チョウセイ→

本機をオフラインにして、MENU キーを押す

2

↑ハ゛ックフィート゛　フィート゛↓
←クリーニンク゛　サーヒ゛ス→

〉キーを押す

3

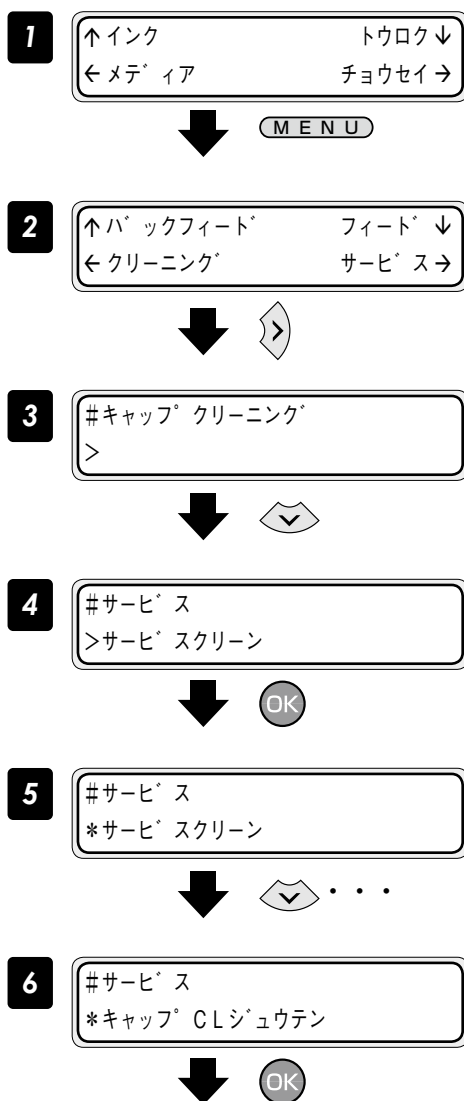
#キャップ゜クリーニンク゛
＞

∨ キーを押して、「#サービス」を選択する

4

#サーヒ゛ス
＞サーヒ゛スクリーン

OK キーを押す

5

#サーヒ゛ス
＊サーヒ゛スクリーン

∨ キーを数回押して、「＊キャップＣＬジュウテン」を選択する

6

#サーヒ゛ス
＊キャップ゜ＣＬシ゛ュウテン

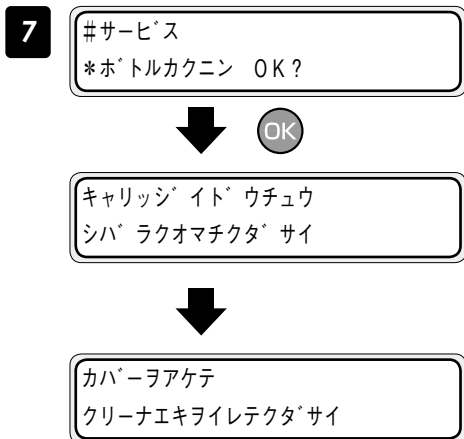
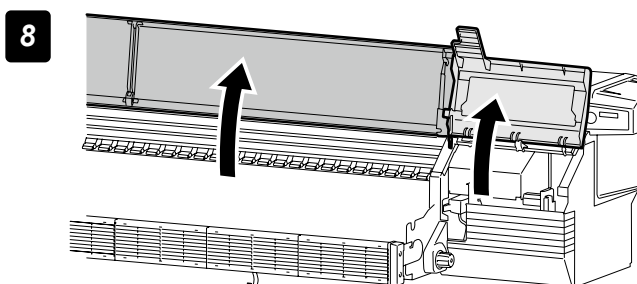
OK キーを押す

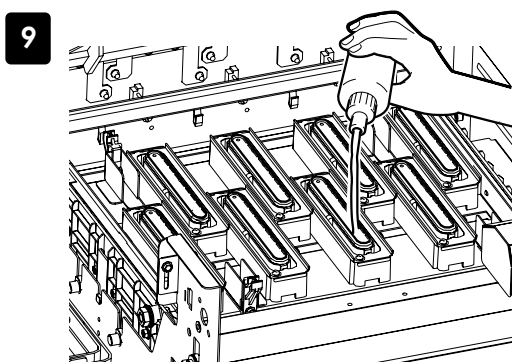
7

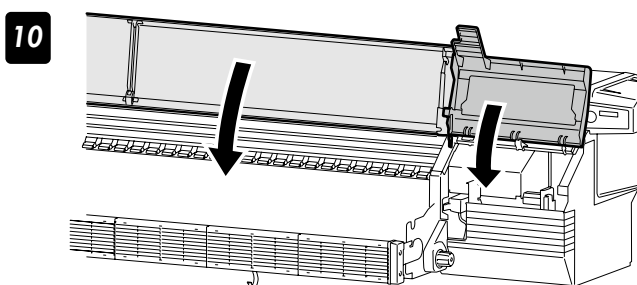
キャリッシ゛イト゛ウチュウ
シハ゛ラクオマチクタ゛サイ

カハ゛ーヲアケテ
クリーナエキヲイレテクタ゛サイ

OK キーを押す

8

フロントカバーを開けてから、キャップカバーを開ける

9

キャップにワイプクリーニング液を垂らす

10

キャップカバーを閉めてから、フロントカバーを閉める

自動的にキャリッジが元の位置に戻ります。

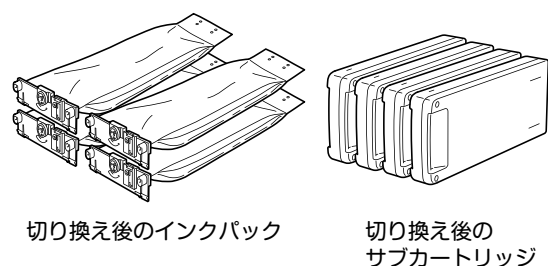
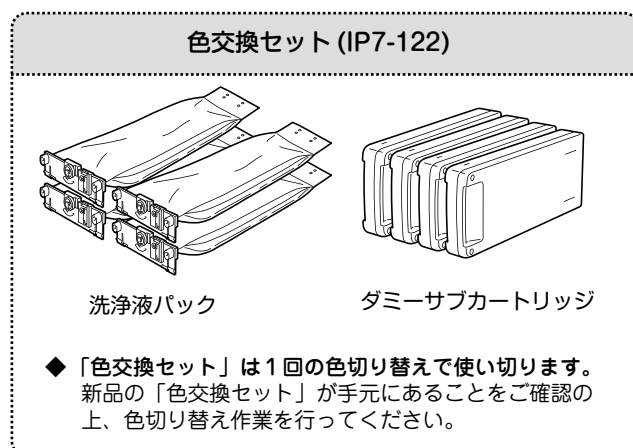
11 一晩（12 時間～ 18 時間）放置する

放置した後、印刷をする前にツウジョウクリーニングを実施してください。

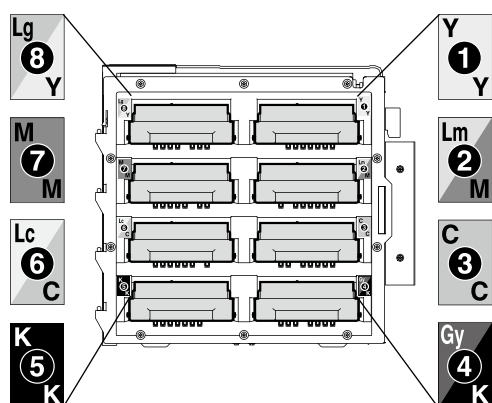
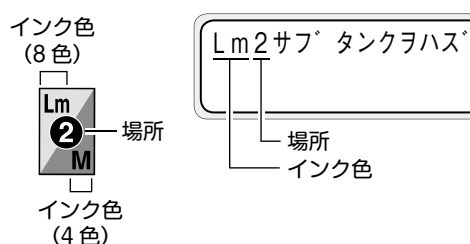
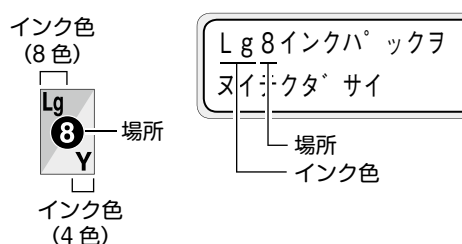
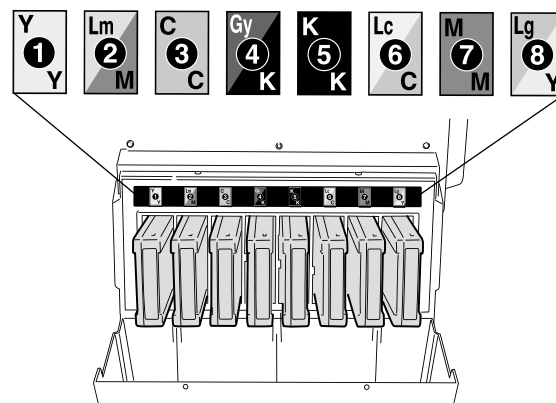
色切り換え (8 色→ 4 色、4 色→ 8 色) をする

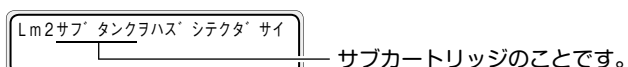
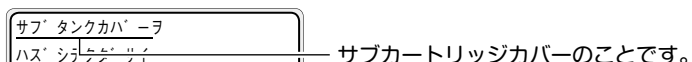
■ 必要なもの

作業を始める前に、以下のものが揃っているか確認してください。

◆「色交換セット」は１回の色切り替えで使い切ります。新品の「色交換セット」が手元にあることをご確認の上、色切り替え作業を行ってください。

8 色→ 4 色の場合：
Y、M、C、K のインクパックとサブカートリッジ
4 色→ 8 色の場合：
Lm、Gy、Lc、Lgy のインクパックとサブカートリッジ

■ インクスロットの場所

インクパック（トレイ）とサブカートリッジは、それぞれ決められた場所にセットしてください。

■ ご注意

◆ LCD 上ではサブカートリッジ（カバー）のことをサブタンク（カバー）と表示します。

◆ 別売のインクトレイに予め洗浄液パックをセットしておくと、作業をスムーズに行うことができます。

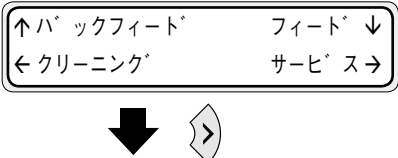
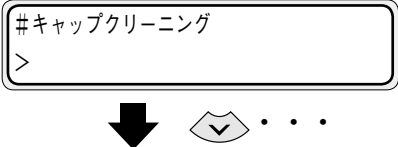
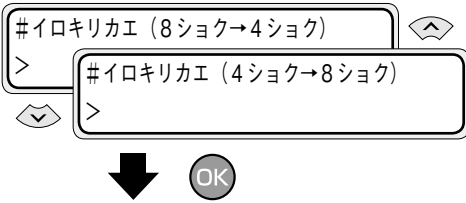
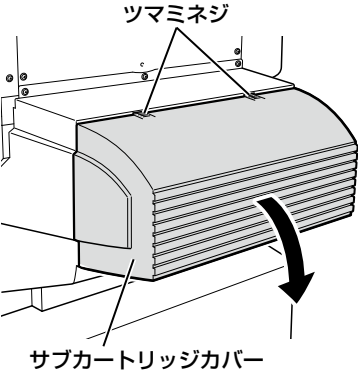
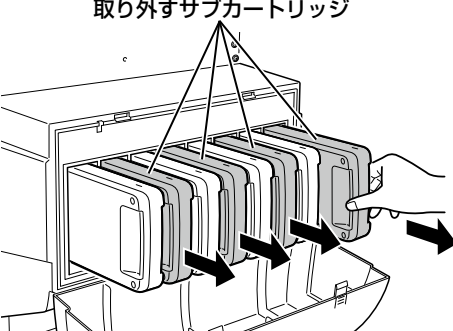
■ 作業の流れ

Step1　廃インクボトルを空にする

Step2　サブカートリッジを抜いて、ダミーサブカートリッジをセットする

Step3　インクトレイを抜いて、洗浄を２回行う

Step4　切り換え後のインクパックをセットする

Step5　ダミーサブカートリッジを抜いて、切り換え後のサブカートリッジをセットする

■ 色切り換え手順

STEP 1　廃インクボトルを空にする

STEP 2　サブカートリッジを抜いて、ダミーサブカートリッジをセットする

1

本機をオフラインにして、MENU キーを押す

2

＞ キーを押す

3

∨ キーを数回押し、「#イロキリカエ」を選択する

4

∧，∨ キーで色切り換えのメニューを選択し、OK キーを押す

5

サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ 2 ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

サブタンクカバーヲ
ハズシテクダサイ

6

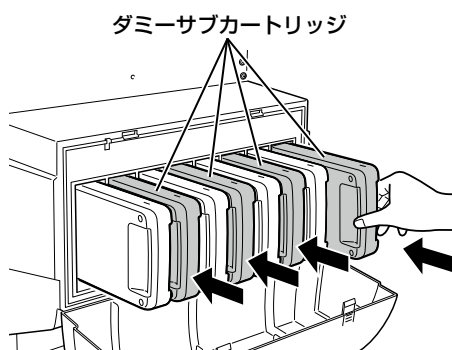
サブカートリッジ（4 本）を取り外す

8 色→ 4 色の場合：
Lm2、Gy4、Lc6、Lg8 のサブカートリッジを取り外します。

Lm2サブタンクヲハズシテクダサイ

4 色→ 8 色の場合：
M2、K4、C6、Y8 のサブカートリッジを取り外します。

M2サブタンクヲハズシテクダサイ

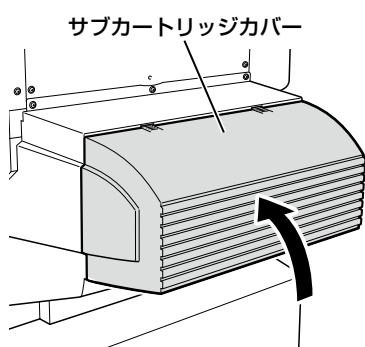
7

色交換セットのダミーサブカートリッジをセットする

8色→4色の場合：
Lm2、Gy4、Lc6、Lg8のインクスロットにセットします。

```
Lm2ダミーサブタンクヲ
セットシテクダサイ
```

4色→8色の場合：
M2、K4、C6、Y8のインクスロットにセットします。

```
M2ダミーサブタンクヲ
セットシテクダサイ
```

8

サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ2ヶ所を締める

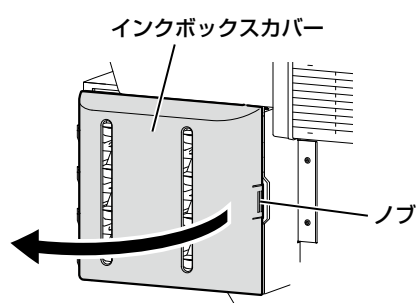
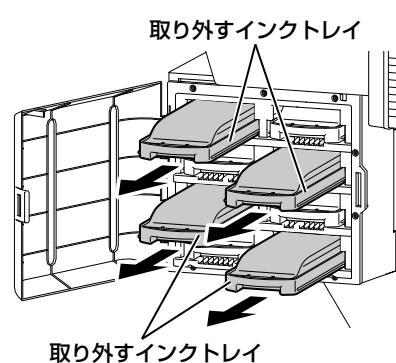
```
サブタンクカバーヲ
トリツケテクダサイ
```

STEP 3　インクトレイを抜いて、洗浄を2回行う

1

インクボックスカバーを開ける

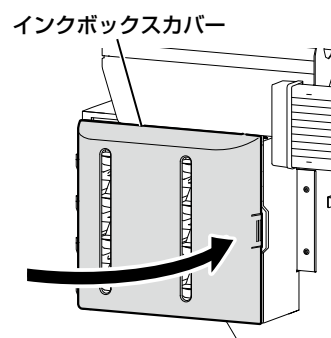
```
インクカバー ヲ
アケテクダサイ
```

2

インクトレイ（4個）を取り外す

8色→4色の場合：
Lm2、Gy4、Lc6、Lg8のインクトレイを取り外します。

```
Lm2インクパックヲ
ヌイテクダサイ
```

4色→8色の場合：
M2、K4、C6、Y8のインクトレイを取り外します。

```
M2インクパックヲ
ヌイテクダサイ
```

3

インクボックスカバーを閉める

```
インクカバーヲ
シメテクダサイ
```

4

ヌキトリチュウ
シバラクオマチクダサイ　　　１２

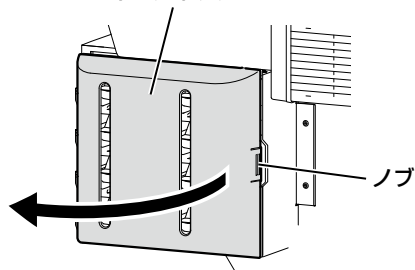
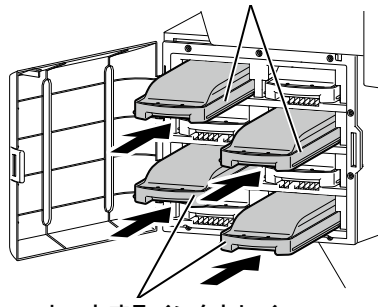
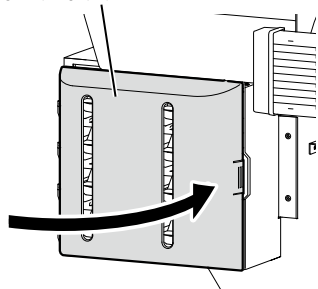
OK キーを押す

抜き取りを実行します。

5

インクボックスカバーを開ける

インクカバーヲ
アケテクダサイ

6

洗浄液パックをセットしたインクトレイをセットする

8色→4色の場合：
Lm2、Gy4、Lc6、Lg8のインクスロットにセットします。

Ｌｍ２センジョウエキパックヲ
セットシテクダサイ

4色→8色の場合：
M2、K4、C6、Y8のインクスロットにセットします。

Ｍ２センジョウエキパックヲ
セットシテクダサイ

7

インクボックスカバーを閉める

インクカバーヲ
シメテクダサイ

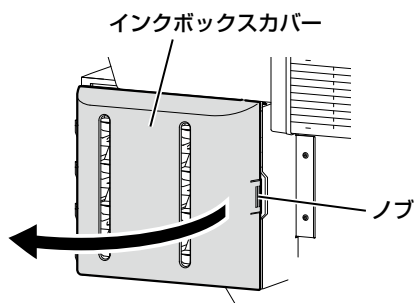
8

OK

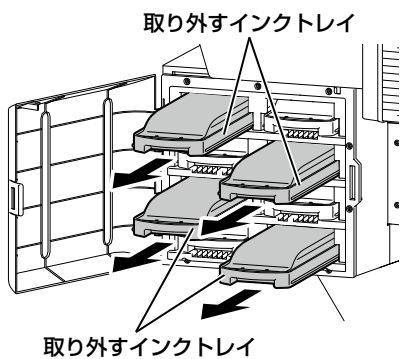
ジュウテンチュウ
シバラクオマチクダサイ　　　１２

OK キーを押す

洗浄液を充填して本機内のインク洗浄をします。

9

インクボックスカバーを開ける

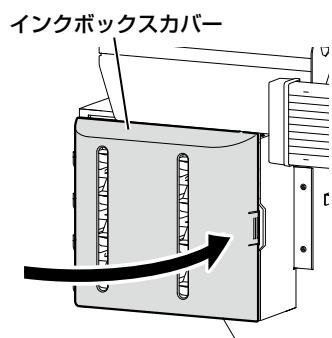
```
インクカバーヲ
アケテクダサイ
```

10

洗浄液パックをセットしたインクトレイを取り外す

8 色→ 4 色の場合：
Lm2、Gy4、Lc6、Lg8 のインクトレイを取り外します。

```
Lm2センジョウエキパックヲ
ヌイテクダサイ
```

4 色→ 8 色の場合：
M2、K4、C6、Y8 のインクトレイを取り外します。

```
M2センジョウエキパックヲ
ヌイテクダサイ
```

11

インクボックスカバーを閉める

```
インクカバーヲ
シメテクダサイ
```

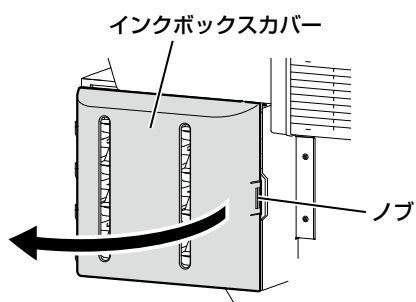
12

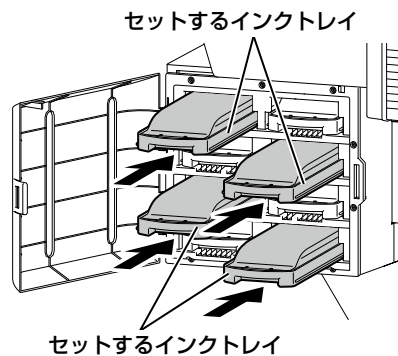
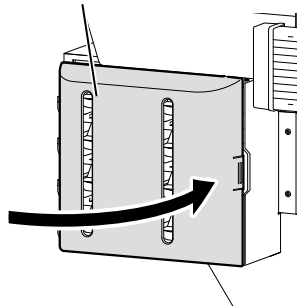
OK キーを押す

抜き取りを実行します。

13 **6** 〜 **12** の手順をくりかえし、再度洗浄を実行する

STEP 4　インクパックをセットする

1

インクボックスカバーを開ける

```
インクカバーヲ
アケテクダサイ
```

2

インクトレイ（4本）をセットする

8色→4色の場合：

```
4ショクモード ノインクパ ックヲ
セットシテクダ サイ
```

4色→8色の場合：

```
8ショクモード ノインクパ ックヲ
セットシテクダ サイ
```

3

インクボックスカバーを閉める

```
インクカバ ーヲ
シメテクダ サイ
```

4

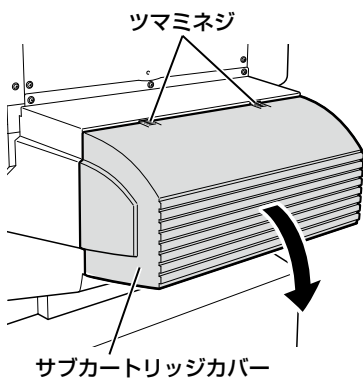
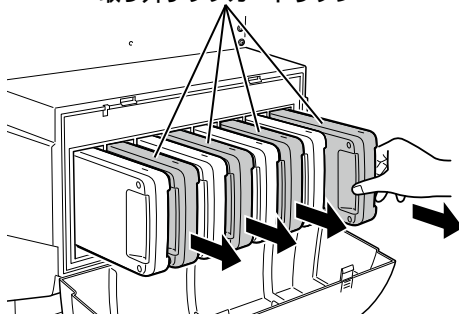
```
ジ ュウテンスタート
*ボ トルカクニン　ＯＫ？
```

```
ジ ュウテンチュウ
シバ ラクオマチクダ サイ　　　　１２
```

OK キーを押す

インクを充填します。

STEP 5　ダミーサブカートリッジを抜いて、サブカートリッジをセットする

1

サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ2ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

```
サブ タンクカバ ーヲ
ハズ シテクダ サイ
```

2

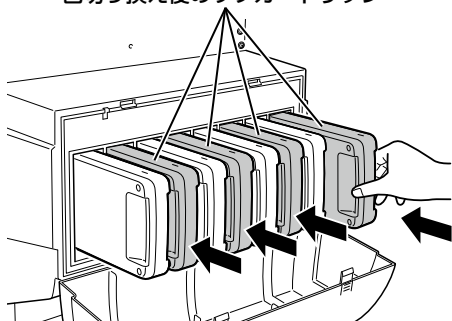
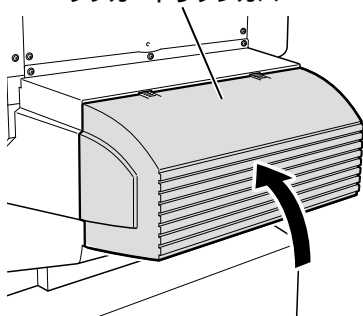
色交換セットのダミーサブカートリッジを取り外す

8色→4色の場合：
Lm2、Gy4、Lc6、Lg8のサブカートリッジを取り外します。

```
Ｌｍ２ダ ミーサブ タンクヲ
ハステグ ダ サイ
```

4色→8色の場合：
M2、K4、C6、Y8のサブカートリッジを取り外します。

```
Ｍ２ダ ミーサブ タンクヲ
ハステグ ダ サイ
```

3

サブカートリッジ（4 本）をセットする

8 色→4 色の場合：
M2、K4、C6、Y8 にサブカートリッジをセットします。

```
M2ｻﾌﾞﾀﾝｸｦ
ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

4 色→8 色の場合：
Lm2、Gy4、Lc6、Lg8 にサブカートリッジをセットします。

```
Lm2ｻﾌﾞﾀﾝｸｦ
ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

4

サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ 2 ヶ所を締める

```
ｻﾌﾞﾀﾝｸｶﾊﾞｰｦ
ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ
```

5

```
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞｽﾀｰﾄ
*ﾎﾞﾄﾙｶｸﾆﾝ  OK?
```

↓ OK

```
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞﾁｭｳ
ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ        12
```

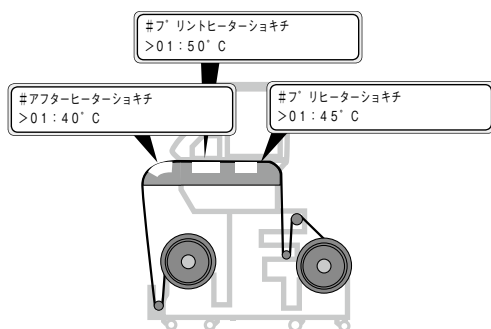
キーを押す

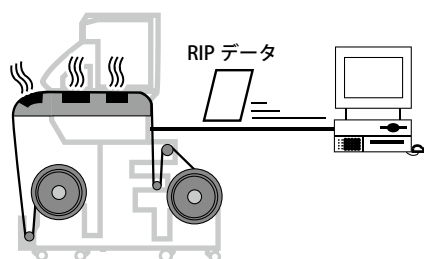
クリーニングが実行され、色切り換え操作が終了します。

ヒーターの設定をする

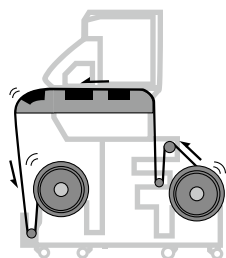
各ヒーター温度は、トウロクメニューで設定されたヒーター初期値が自動設定されます。したがって、通常はヒーターコントロールメニューを操作する必要はありません。ヒーターコントロールメニューは、印刷中に温度の微調整を行う場合や、現在のヒーター温度を確認する場合に使用します。

◆ヒーター温度設定の流れ

①メディアに登録された初期値温度でスタンバイ

メディアセット時にメディアの種類を選択すると、そのメディアに対して設定されている各ヒーターの温度初期値がメニュー上に表示されます。

②RIP データを受信して加熱開始

RIP（プリントデータ、ジョブ）で温度設定をしている場合は、ヒーターコントロールメニュー上の設定温度は上書きされます。

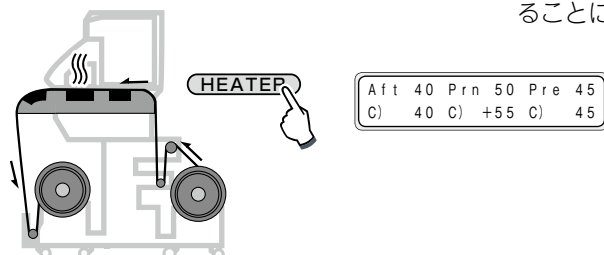
◇ RIP で設定されている温度を無効にして、パネルで設定されている初期値を使用したい場合には、トウロクメニューのユウセンジュンイ　ヒーターの設定をパネルにします。

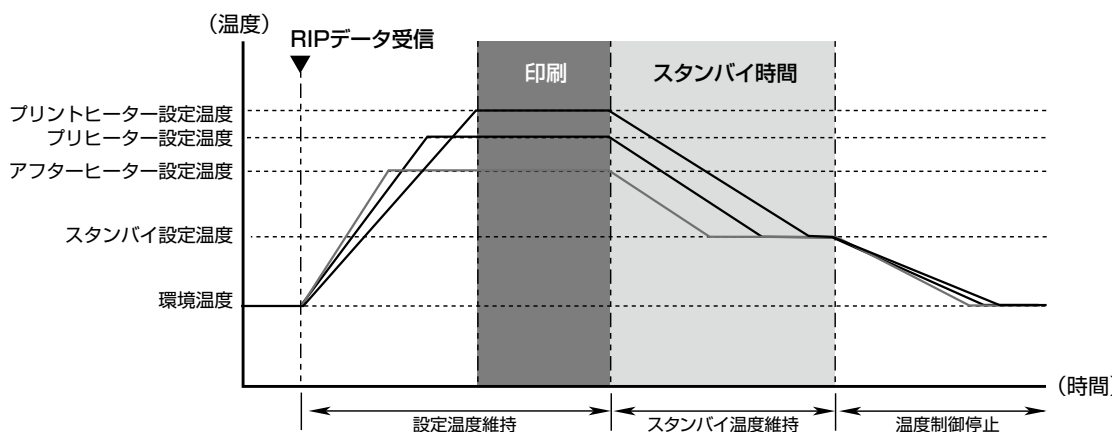
③設定温度近くになると印刷開始

アフター，プリント，プリのすべてのヒーターの現在温度が設定温度より 1℃低い温度に到達すると、印刷を開始します。

◇ ヒーターの設定最高温度は以下の通りです。
アフターヒーター:70℃、プリントヒーター:55℃、プリヒーター：55℃

◇ 印刷が終了しても、本項で変えられた設定温度が、メディアをセットし直すまで（または電源をオフするまで）「設定温度」として残ります。ただし、トウロクメニューのヒーター初期値の温度は変更されません。

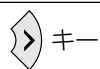
④印刷中にヒーター温度を変更

```
Aft 40 Prn 50 Pre 45
C)  40 C) +55 C)  45
```

印刷中はヒーターコントロールメニューで設定温度を変えることにより、印刷しながら温度が変更できます。

■ 印刷時のヒーター温度制御

◇ スタンバイ温度の初期値は以下の通りです。
アフターヒーター:60℃、プリントヒーター:45℃、プリヒーター:45℃
ただし、設定温度が上記よりも低い場合は、設定温度まで温度が下がります。

◆ヒーターコントロールメニューを表示する

(HEATER) キーを押すとヒーターコントロールメニューが表示されます。

◆ヒーターコントロールメニューのキー操作

キー	操作
〈, 〉 キー	設定するヒーターを選択します。
∨, ∧ キー	ヒーター温度を設定します。
(MENU) キー	ヒーターのオン／オフを切り換えます。
キー	ヒーターコントロールメニュー表示中に、1.5 秒押し続けると、印刷動作がなくても強制的にすべてのヒーターがオンになります (加熱制御を開始します)。
(CANCEL) キー	ヒーターコントロールメニュー表示中に、1.5 秒押し続けると、(OK) キーで強制的にヒーターをオンした状態を解除します (加熱制御を停止します)。

◆ヒーターコントロールメニューの表示を終了する

ヒーターコントロールメニュー表示中に (HEATER) キーを押します。

■ ヒーターコントロールメニュー表示が自動で終了する場合

```
ヒーターヒョウジ゛シュウリョウ
```

ヒーターコントロールメニュー表示状態で、キーが 30 秒以上入力されない場合、自動的に「ヒーターヒョウジ゛シュウリョウ」と 2 秒間表示した後、ヒーターコントロールメニューの表示が終了します。
この表示中は、キー入力は無効となります。

■ メディア種類とヒーター設定に関する参考情報

メディアの種類ごとの、ヒーター設定温度とプリントモードの参考設定値（初期値）は、以下の通りです。ご使用のメディアにより、設定を変更してお使いください。

メディア分類	メディアの種類選択	推奨ヒーター設定温度			プリントモード
		アフター	プリント	プリ	
光沢塩ビ	Glossy	45℃	40℃	45℃	標準１／双方向
光沢なし塩ビ	Matte	45℃	40℃	45℃	標準１／双方向
ターポリン	Banner	45℃	40℃	45℃	標準１／双方向

ヒーター設定温度は、アフター 60℃以下、プリント 45℃以下、プリ 50℃以下の範囲内での設定を推奨します。

⚠注意

- ◆ プリントヒーターを高温に設定すると、インクの定着性は良くなりますが、メディアのシワや印刷面のマット化の原因になる場合があります。メディアの種類や環境温度にあわせて調整してください。
- ◆ プリントヒーターを高温に設定すると、安定した印刷品質を得るために、自動的に印刷速度を落として印刷する場合があります。
- ◆ アフター／プリヒーターの温度は、プリントヒーター温度に対して +5℃を目安に設定してください。アフター／プリヒーターとプリントヒーターのバランスが悪いとメディアにシワが発生する場合があります。
- ◆ プリントヒーターを高温にすると印刷抜けが発生することがあります。

◆初期値温度を設定する

1

本機をオフラインにし、 キーを押す

2

#メディアセンタク
>01：PAPER ＊

キーを数回押して「#アフターヒーターショキチ」を選択する

3

#アフターヒーターショキチ
>01：40℃

OK キーを押す

4

#アフターヒーターショキチ
＊01：40℃

設定温度を入力する

, キーで桁を合わせ、 , キーで数値を設定します。

5

#アフターヒーターショキチ
＊01：50℃

OK キーを押す

#アフターヒーターショキチ
>01：50℃

◆スタンバイ時間を設定する

印刷終了後、ヒーターのスタンバイ設定温度を維持する時間を選択します。（スタンバイ設定温度に移行する時間も含みます。）

1

本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す

MENU ×2

2

〉キーを押す

3

OK キーを押す

4

∨，∧ キーを押して維持時間を選択する

5

OK キーを押す

#スタンバ゛イシ゛カン
>60フン

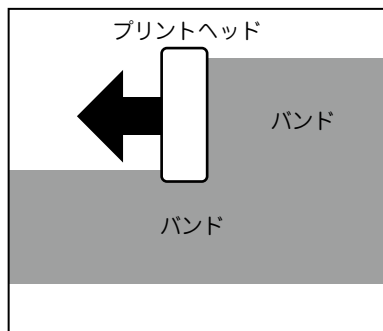
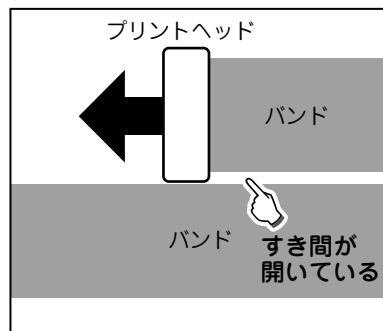
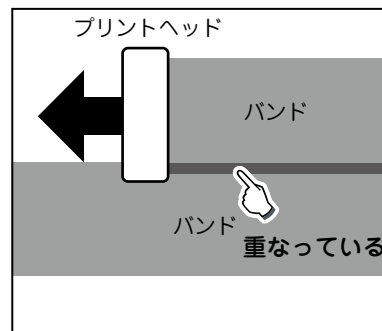
設定完了

スマートパステクノロジーについて

インクジェットプリンターでは１スキャンで印刷する幅（バンド）の間隔で横縞模様が発生することがあります。この横縞模様のことをバンディングと言います。バンディングの原因は、主にメディアに不適切な送り補正値が設定されていることです。適切な値ならすき間無くつながるバンド間が、値が大きすぎるとすき間が開き（白スジ）、小さすぎると重なり（黒スジ）横縞模様が発生します。他にも、インクの乾燥が遅い場合やスキャン毎の送り量のバラツキが大きいメディアを使用した場合でもバンディングは発生します。

正確なメディア送り

白スジ

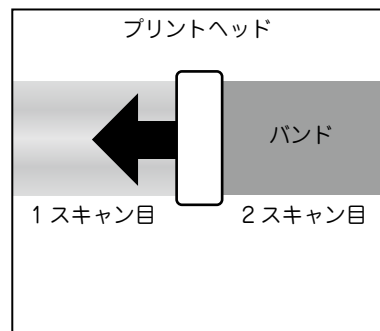
プリントヘッド
バンド
バンド
すき間が
開いている

黒スジ

スマートパステクノロジーは、このバンディングを軽減する機能です。本機の操作メニューでは､トウロクメニューの「#スマートパス」でジャク､チュウ､キョウのいずれかを選択することが可能です。また､RIP データで設定することも可能です。

スマートパステクノロジーでは適切な送り補正値でもバンド間は全て重なって印刷されます。バンド間の重ね合わせ部分を独自のアルゴリズムで処理し、横縞模様を見えにくくします。

本機では、この重ね合わせ強度を３段階（弱、中、強）用意しています。

重ね合わせ部分の処理が強くなるほど横縞模様は見えにくくなりますが、印刷速度が遅くなります。

スマートパステクノロジー

品質を重視する場合は、重ね合わせ強度を強くし、印刷速度を重視する場合は、弱く設定してください。

調整する

調整をする前に

調整を行う前に、以下の作業を行ってください。

① **ヒーターを強制的に ON に設定し、装置を 30 分以上温めてください。**
装置が充分に温まった後、調整を実施してください。装置が充分温まっていない状態で調整を行うと、正しく調整が行えない場合があります。

② **プリントヘッドの高さを合わせる為、加圧操作ノブを「Open」にして、メディアを再度セットし直してください。**

調整方法

◆メディアの送り量を調整する「オクリチョウセイ」

メディア送りの補正はメディア送り調整パターンの「シングル」又は、「マルチ」のどちらのパターンを使っても送り補正値を決定することができます。

「オクリ　シングル」は、現設定の「オクリホセイチ」で印刷を行います（1 パターン）。

「オクリ　マルチ」は、現設定の「オクリホセイチ」－ 0.2%、現設定の「オクリホセイチ」、現設定の「オクリホセイチ」+0.2% の 3 つのパターンを印刷します。

■ 作業の流れ

メディア送り補正値が変わる要因

- 印刷モードの変更
- スマートパスの変更
- 加圧操作ノブによる圧力変更
- 巻き取り装置の使用／未使用
- メディア種類の変更
- 搬送経路の変更

◆調整パターン「オクリ　マルチ」を印刷する

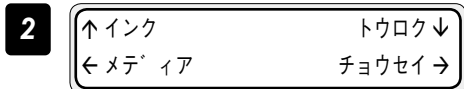
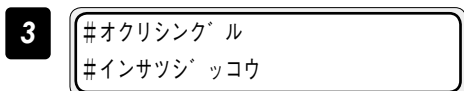
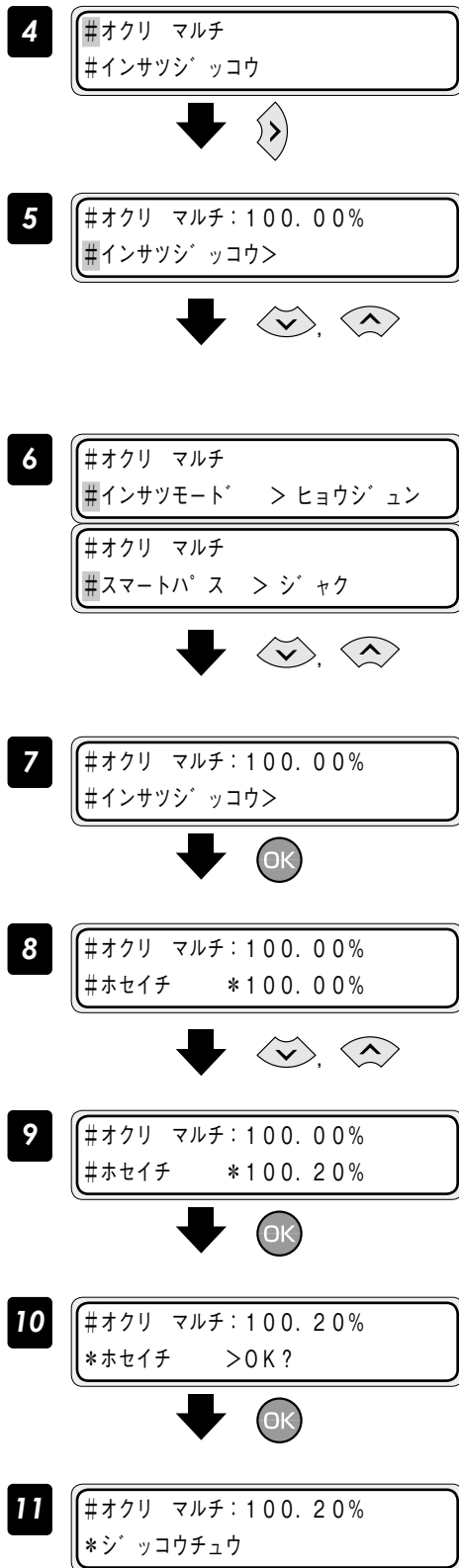
1 長さ 4m 以上のメディアを取り付ける

実際に印刷する時と同じ条件でメディアをセットしてください。

2

↑インク	トウロク↓
←メディア	チョウセイ→

本機をオフラインにし、〈>〉キーを押す

3

〈v〉，〈^〉キーを押して、送り調整パターン「マルチ」の表示にします。

4 キーを押し、印刷するパターン（オクリ　マルチ）を選択する

5 ，，OK キーを押して、印刷モード及び、スマートパスを選択してください。

メディア送りを調整したいメディアで通常お使いいただく印刷モード、スマートパスを選択してください。

6 ，キーを押して、「インサツジッコウ」を選択します。

7 OK キーを押します

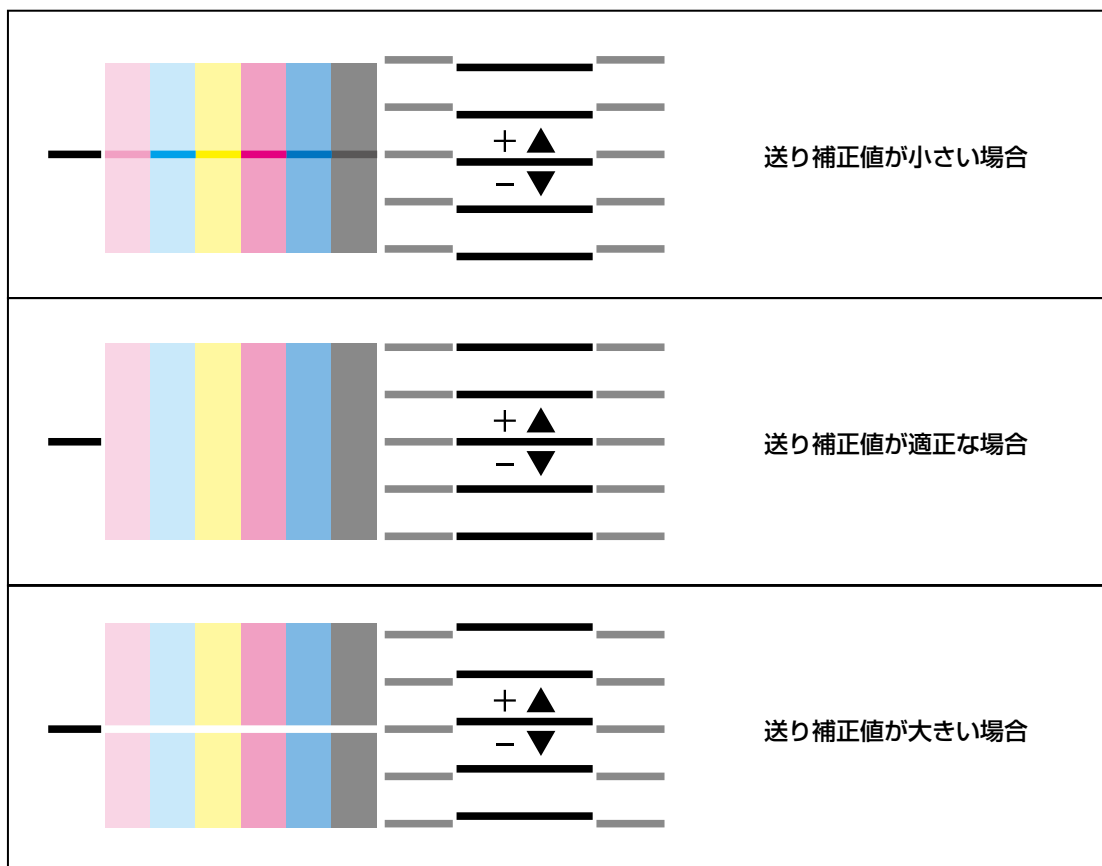
8 補正値入力の表示になるので、，キーで補正値を調整します。

9 OK キーを押します

10 補正値を確認し、OK キーを押します

11 調整パターンが印刷されます。

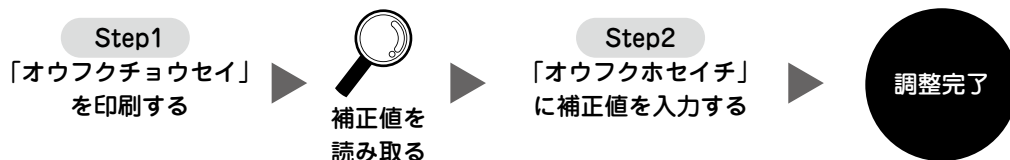
印刷結果を見て補正値が正しくないようであれば、手順 7 ～ 11 を繰り返し行い、補正値を決定します。

送り調整パターンの見方

注意

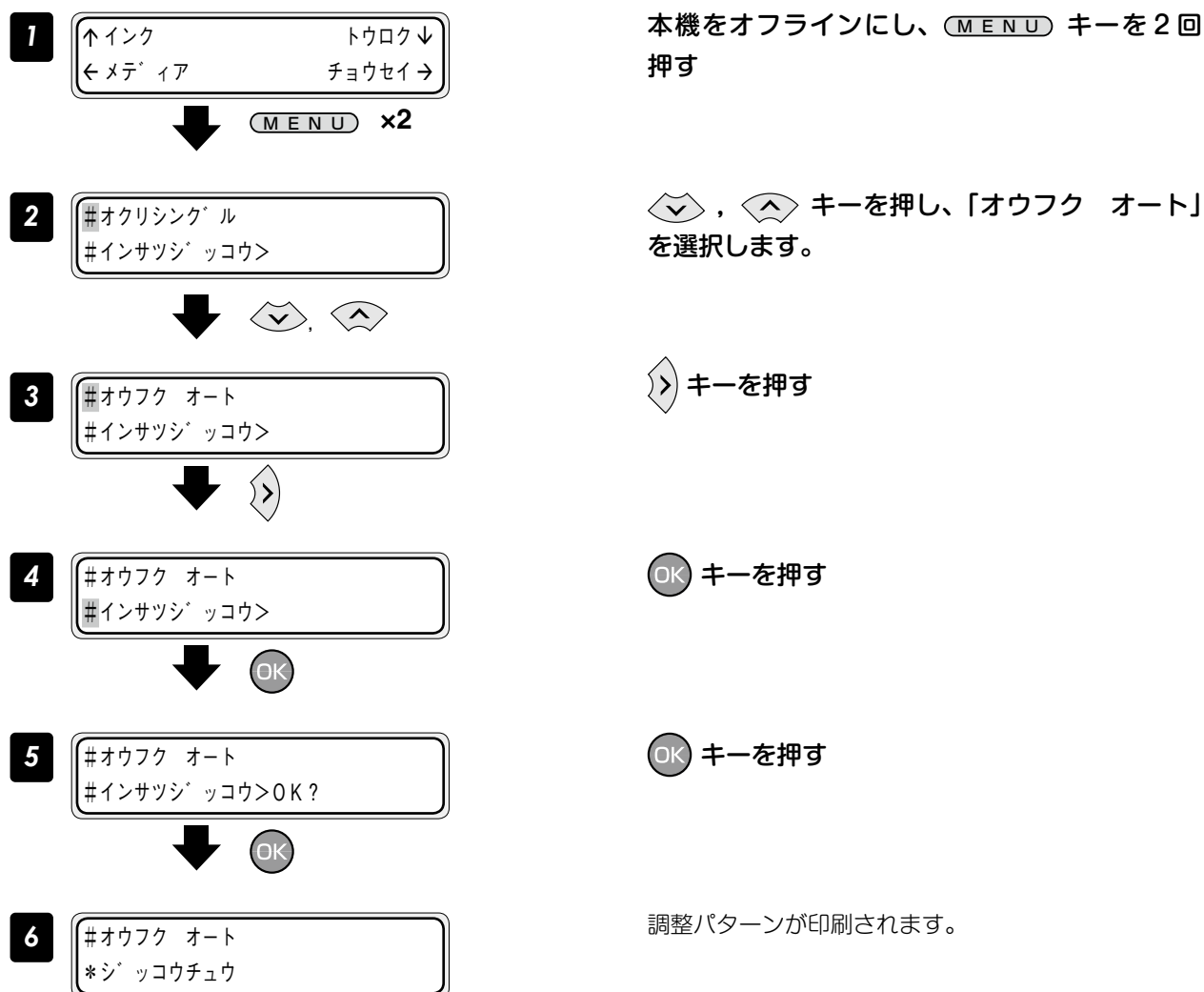
- ◆ プリントヘッド毎（毎色）に、適正な補正値が違う場合は平均的な値を設定してください。ただし、印刷する画像で優先される色がある場合は、その色の補正値を設定してください。
- ◆ メディアの左右で適正な補正値が違う場合は平均的な値を設定してください。
- ◆ メディアの左右で適正な補正値が違う場合はメディアの斜行などが原因となっている可能性があります。メディアが斜めにセットされていないか再確認してください。

◆往復のインク着弾位置を補正する「往復調整」

各プリントヘッドの往復の着弾位置を調整します。

■ 作業の流れ

■ 調整手順

（往復調整パターン「オート」の場合）
各プリントヘッドの往復位置を調整します。「オウフク　オート」の印刷結果をもとに補正値を入力します。

STEP 1　調整パターン「オウフクチョウセイ　オート」を印刷する

1

本機をオフラインにし、MENU キーを２回押す

2

#オクリシングル
#インサツジッコウ>

↓ ⌄, ⌃

⌄ , ⌃ キーを押し、「オウフク　オート」を選択します。

3

#オウフク　オート
#インサツジッコウ>

↓ 〉

〉キーを押す

4

#オウフク　オート
#インサツジッコウ>

↓ OK

OK キーを押す

5

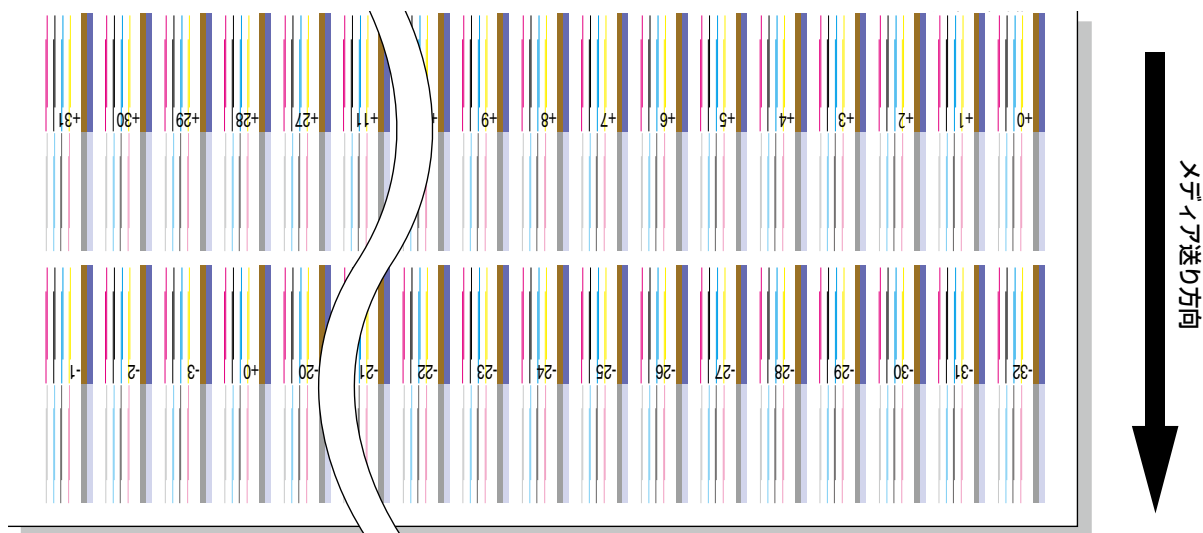
#オウフク　オート
#インサツジッコウ>ＯＫ？

↓ OK

OK キーを押す

6

#オウフク　オート
＊ジッコウチュウ

調整パターンが印刷されます。

・「オウフクチョウセイ△」印刷サンプル

※ 印刷サンプルは「オウフクチョウセイ（L）△」のパターンですが、実際には（L）、（R）の２パターン印刷されます。

STEP 2　補正値を入力する

1

```
#オウフク　オート
#インサツジ゛ッコウ>
```

[▽]，[△] キーを押し、ホセイチ L 又は、ホセイチ R を選択します。

2

```
#オウフク　オート
#ホセイチ　M7　>+00
```

[OK] キーを押して補正するヘッドを確定します。

ここでは例として M ７ヘッドの L を調整する場合を説明します。

3

```
#オウフク　オート
#ホセイチ　M7　*+00
```

[＜]，[＞] キーで桁を合わせ、[▽]，[△] キーで値を変更します。

補正値は、各プリントヘッドの２本線がもっとも合わさっている値を入力します。

例えば、M７プリントヘッドを設定する場合、右図では -21 はずれていますが、+2では１本に合わさっているので、「+2」を入力します。

4

```
#オウフク　オート
#ホセイチ　M7　>+02
```

[OK] キーを押す

5

```
#オウフク オート
#ホセイチ M7 >+02
```

ホセイチ R についても同様に調整します。
他のヘッドについても同様に調整します。

(往復調整パターン「マニュアル」の場合)
各プリントヘッドの往復位置を調整します。「オウフク　マニュアル」の印刷結果をもとに補正値を入力します。

STEP 1　調整パターン「オウフクチョウセイ　マニュアル」を印刷する

1

```
↑インク        トウロク↓
←メディア      チョウセイ→
```

MENU ×2

本機をオフラインにし、MENU キーを 2 回押す

2

```
#オクリシングル
#インサツジッコウ>
```

∨，∧ キーを押し、「オウフク　マニュアル」を選択します。

3

```
#オウフク マニュアル
#インサツジッコウ>
```

〉キーを押す

4

```
#オウフク マニュアル
#インサツジッコウ>
```

∨，∧ キーを押し、「パターン」を選択します。

5

```
#オウフク マニュアル
#パターン >オウフクホセイ1
```

OK キーを押すと、印刷するパターンを変更できます。

6

```
#オウフク マニュアル
#パターン *オウフクホセイ1
```

∨，∧ キーを押し、印刷するパターンを選択します。OK キーを押して確定します。

往復調整パターン<対応印刷モード>

チョウセイパターン	インサツモード
オウフクチョウセイ1	サイコウソク、コウソク
オウフクチョウセイ2	ヒョウジュン
オウフクチョウセイ3	コウガシツ
オウフクチョウセイ4	サイコウガシツ

7

```
#オウフク マニュアル
#パターン >オウフクホセイ2
```

∨，∧ キーを押し、「インサツジッコウ」を選択します。

調整パターンが印刷されます。

・「オウフクチョウセイ△」印刷サンプル

※　印刷サンプルは「オウフクチョウセイ（L）△」のパターンですが、実際には（L）、（R）の２パターン印刷されます。

STEP 2　補正値を入力する

1

```
#オウフク　マニュアル
#インサツジ゛ッコウ>
```

[下], [上] キーを押し、ホセイチ L 又は、ホセイチ R を選択します。

2

```
#オウフク　マニュアル
#ホセイチ2L　M7　>+00
```

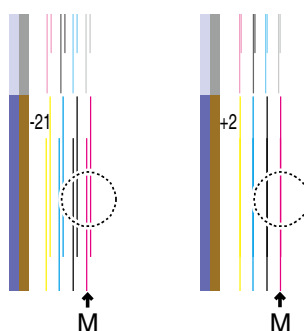
[OK] キーを押して補正するヘッドを確定します。

ここでは例としてホセイチ 2L の M7 ヘッドを調整する場合を説明します。

3

```
#オウフク　マニュアル
#ホセイチ2L　M7　*+00
```

[左], [右] キーで桁を合わせ、[下], [上] キーで値を変更します。

補正値は、各プリントヘッドの２本線がもっとも合わさっている値を入力します。
例えば、Ｍ７プリントヘッドを設定する場合、右図では -21 はずれていますが、+2では１本に合わさっているので、「+2」を入力します。

4

```
#オウフク　マニュアル
#ホセイチ2L　M7　*+02
```

[OK] キーを押す

5

```
#オウフク　マニュアル
#ホセイチ2L　M7　>+02
```

ホセイチ 2R についても同様に調整します。
他のヘッドについても同様に調整します。

◆自動クリーニング前後の画像のつなぎ目を調整する「戻し調整」

「クリーニングモード」を「モード2」で使用したときに、印刷途中に自動で行われるクリーニングの前後に印刷された画像のつなぎ目の位置を調整します。
「モドシチョウセイパターン」の印刷結果をもとに、補正値を入力します。
調整を行うときには、あらかじめ、「トウロク」メニューで「クリーニングモード」を「モード2」に設定しておいてください。

■ 調整手順

STEP 1　調整パターン「モドシチョウセイパターン」を印刷する

1

本機をオフラインにし、〉キーを押す

2

#オクリ シングル
#インサツジッコウ

∨，∧ キーを押し、「モドシチョウセイ」を選択します。

3

〉キーを押す

4

#モドシチョウセイ
#インサツジッコウ>

∨，∧ キーを押して、印刷モードを選択します。

5

#モドシチョウセイ
#インサツモード　>ヒョウジュン

OK キーを押す

6

#モドシチョウセイ
#インサツモード　＊サイコウソク

∨，∧ キーを押し、印刷するパターンを選択します。OK キーを押して確定します。

7

#モドシチョウセイ
#インサツモード　>サイコウソク

同様にスマートパスも設定します。
∨，∧ キーを押し、「インサツジッコウ」を選択します。

こんなときは
調整する
メニューツリー
索引

8

#モド゛シチョウセイ
#インサツジ゛ッコウ>

OK キーを押す

9

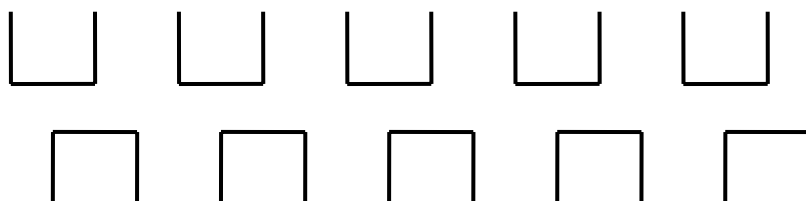
#モド゛シチョウセイ
#インサツジ゛ッコウ>ＯＫ？

OK キーを押す

10

#モド゛シチョウセイ
＊ジ゛ッコウチュウ

調整パターンが印刷されます。

・「モドシチョウセイパターン」印刷サンプル

STEP 2　補正値を入力する

1

#モド゛シチョウセイ
#インサツジ゛ッコウ>

∨，∧ キーを押し、ホセイチを選択します。

2

#モド゛シチョウセイ
#ホセイチ　　>＋００００パ゜ルス

OK キーを押す

3

#モド゛シチョウセイ
#ホセイチ　　>＊００００パ゜ルス

＜，＞ キーで桁を合わせ、∨，∧ キーで値を変更し、OK キーを押します。

4

#オウフク　オート
#ホセイチ　　>＊０４００パ゜ルス

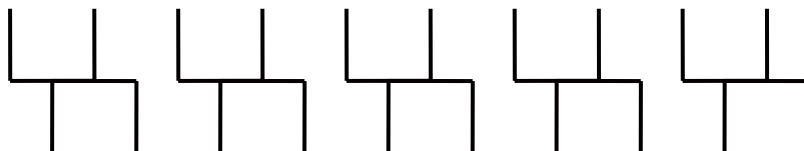
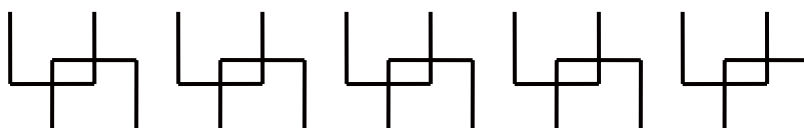
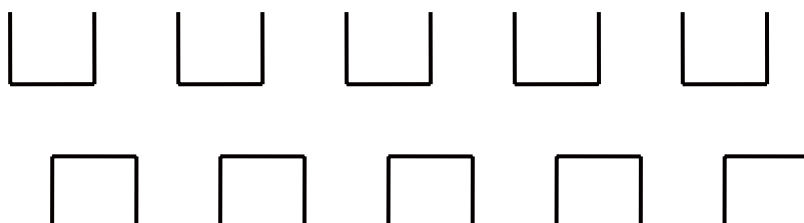
OK キーを押す

5

#オウフク　オート
#ホセイチ　　>＋０４００パ゜ルス

補正値の入力は完了です。

STEP 3 「モドシチョウセイ」をもう一度印刷し、調整パターンの横線が合っているか確認する。

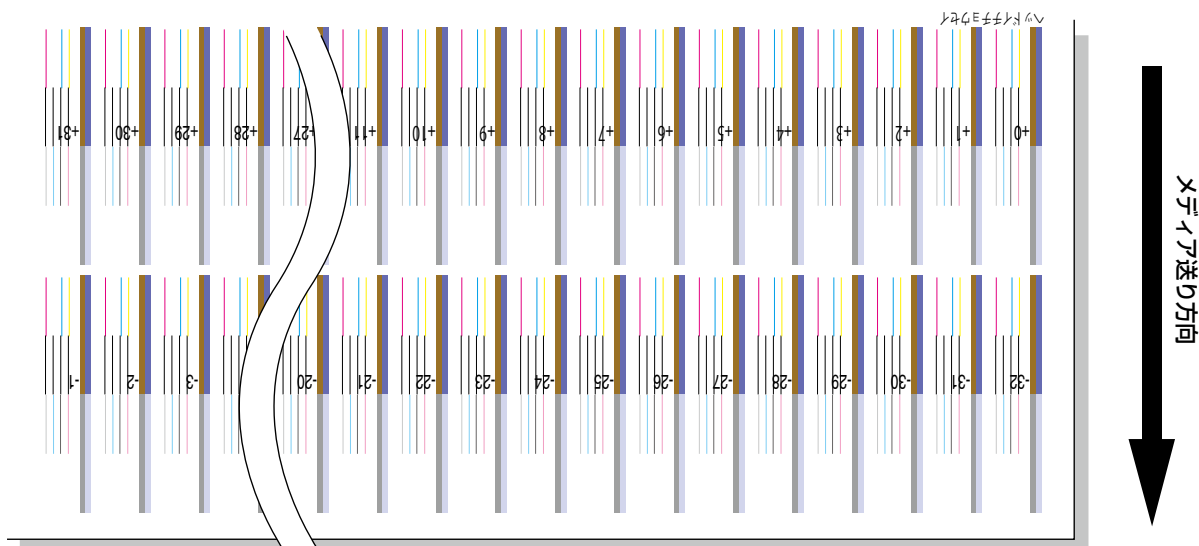
1 調整パターンの横線が合うまで、「STEP 1」と「STEP 2」を繰り返す

◆プリントヘッドの位置と左右位置を調整する「ヘッド調整」

各プリントヘッドの主走査方向（メディアの左右）のヘッド位置をＫ５プリントヘッドを基準に調整します。
「ヘッドチョウセイ」の印刷結果をもとに、補正値を入力します。

■ 調整手順

STEP 1　調整パターン「ヘッドチョウセイ」を印刷する

1. 本機をオフラインにし、MENU キーを2回押しメカチョウセイメニューを表示します。
2. 〈 キーを押す
3. ∨，∧ キーで補正値を調整します。
4. 〉 キーを押す
5. OK キーを押す
6. OK キーを押す
7. 調整パターンが印刷されます。

・「ヘッドイチチョウセイ」印刷サンプル

STEP 2　補正値を入力する

ヘッド位置補正値を入力します。

1

⌄，⌃ キーを押し、ヘッド色を変更します。

2

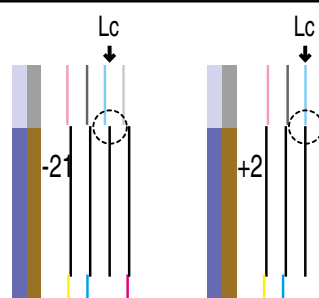
OK キー押し、補正するヘッドを確定します。

ここでは例として Lc6 ヘッドを調整する場合を説明します。

3

〈，〉 キーで桁を合わせ、⌄，⌃ キーで値を変更します。

補正値は、K5 プリントヘッドの線と位置が一致している値を入力します。例えば、右図の Lc6プリントヘッドでは -21 はずれていますが、+2 では一致していますので、「+2」を入力します。

#ヘッドイチホセイチ
#Lc6　　　＊+02

4

#ヘッド゛チョウセイ
#イチホセイチ　Lc6＊+02

5

```
#ヘッド゛チョウセイ
#イチホセイチ Lc6>+02
```

他の色についても同様に調整する

続けてヘッド左右補正値を入力します。

6

```
#ヘッド゛チョウセイ
#サユウホセイチ M7 >+00
```

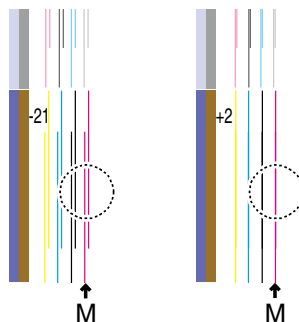
OK を押して補正するヘッドを確定します。

ここでは例としてM７ヘッドを調整する場合を説明します。

7

```
#ヘッド゛チョウセイ
#サユウホセイチ M7 *+00
```

〈 ，〉 キーで桁を合わせ、∨ ，∧ キーで値を変更します。

補正値は、各プリントヘッドの２本線がもっとも合わさっている値を入力します。例えば、Ｍ７プリントヘッドを設定する場合、右図では -21 はずれていますが、+2では１本に合わさっているので、「+2」を入力します。

8

```
#ヘッド゛チョウセイ
#サユウホセイチ M7 *+02
```


OK キーを押す

9

```
#ヘッド゛チョウセイ
#サユウホセイチ M7 >+02
```


他のヘッドについても同様に調整する

◆エッジセンサーの位置を補正する「エッジセンサー調整」

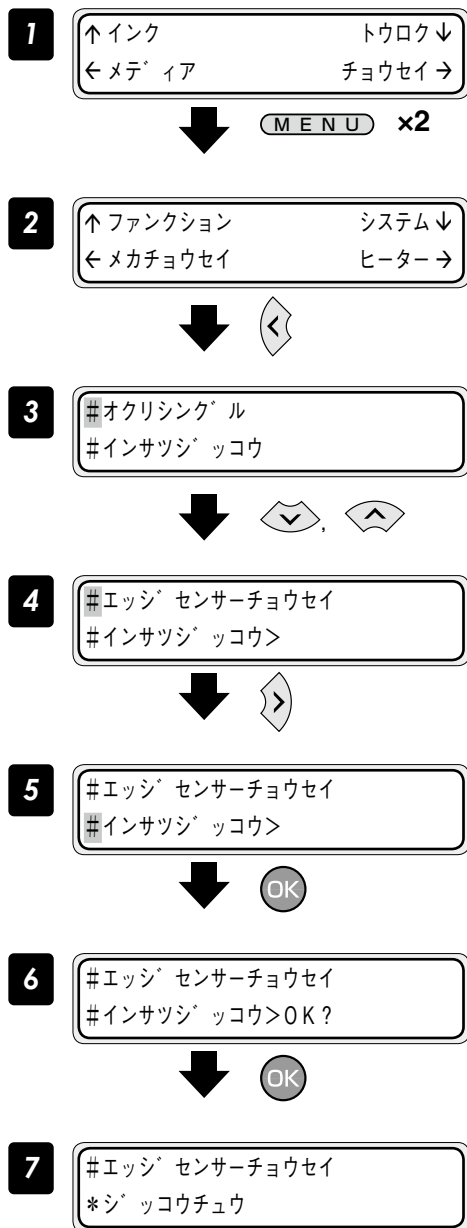
エッジセンサー調整パターンを印刷して、エッジセンサー位置を補正します。印刷後、距離を測定し、パラメーターのセットを行います。

1

本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す

2

キーを押す

3

, キーを押し、「エッジセンサーチョウセイ」を選択します。

4

キーを押す

5

OK キーを押す

6

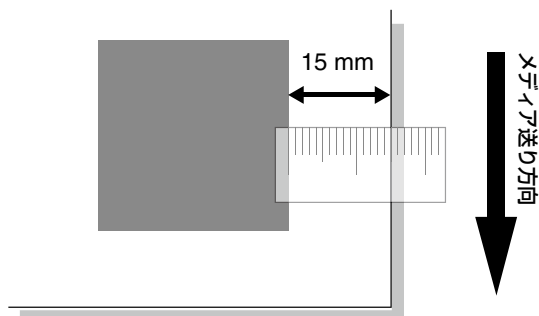
OK キーを押す

7

#エッジ゛センサーチョウセイ
*ジ゛ッコウチュウ

調整パターンが印刷されます。

8

・「エッジセンサーチョウセイ」印刷サンプル

印刷結果を判定する

印刷結果の余白部分を直尺または定規で測定します。
仕様 15mm に対しての誤差を求めます。
誤差が 0mm であれば終了とします。
誤差が 0mm でない場合は、以下の手順で補正します。

補正値の求め方

◆ 15mm を基準値として余白部分を計測し、補正値を求めます。
＜例＞
余白部分が **14mm** だった場合：**-1.0mm** が補正値になります。
余白部分が **16mm** だった場合：**+1.0mm** が補正値になります。

9

#エッシ゛ センサーチョウセイ
#インサツシ゛ッコウ>

∨，∧ キーを押し、「イチホセイチ」を選択します。

10

#エッシ゛ センサーチョウセイ
#イチホセイ >+0.0mm

OK キーを押す

11

#エッシ゛ センサーチョウセイ
#イチホセイ ＊+0.0mm

＜，＞ キーで桁を合わせ、∨，∧ キーで値を変更し、OK キーを押します。

12

#エッシ゛ センサーチョウセイ
#イチホセイ ＊+0.5mm

OK キーを押す

13

#エッシ゛ センサーチョウセイ
#イチホセイ >+0.5mm

調整完了です。

メニューツリー

↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→
MENU
インクメニュー
XXXインクザンリョウ：ZZZ%
セイゾウビ：YY/MM/DD
メディアメニュー
ロール（PAPER）
XXXXmm
3秒おきに切り替わる
メディアザンリョウ
ZZZm
シート（PAPER）
YYYYmm
ベース（PAPER）
YYYYmm
3秒おきに切り替わる
メディアザンリョウ
ZZZm
オモテ（PAPER）
YYYYmm
3秒おきに切り替わる
メディアザンリョウ
ZZZm
ウラ（PAPER）
YYYYmm
トウロクメニュー
#メディアセンタク
>01：PAPER
01～20
#メディアメイ
>01：PAPER
6桁の文字入力
（記号、英数字、カナ、他）
#スマートパス
>01：ジャク
ジャク
チュウ
キョウ
#ノウド
>01：ツウジョウ
ツウジョウ
コウノウド
#インサツホウコウ
>01：ソウホウコウ
ソウホウコウ
カタホウコウ
#エッジガード
>01：シヨウ
シヨウ
ミシヨウ
①
②
③

①
②
③
#スキューチェック
>01:オン
オン
オフ
#メディアオクリモード
>01:シーケンス1
シーケンス1
シーケンス2
シーケンス3
シーケンス4
#メディアモドシモード
>01:モドス
モドス
モドサナイ
#キュウチャクファン
>01:チュウ
キョウ
チュウ
ジャク
オフ
#アフターヒーターショキチ
>01:**°C
15℃~70℃
59°F~158°F
#プリントヒーターショキチ
>01:**°C
15℃~55℃
59°F~131°F
#プリヒーターショキチ
>01:**°C
15℃~55℃
59°F~131°F
#カラーストライプ
>01:オン
オン
オフ
#ヘッドタカサチョウセイ
>01:+0.0mm
-0.3~+1.0
(単位:0.1mm)
#クリーニングモード
>01:モード1
モード1
モード2
モード3
#ユウセンジュンイ オクリ
>01:データ
データ
パネル
#ユウセンジュンイ モード
>01:データ
データ
パネル
#ユウセンジュンイ ヒーター
>01:データ
データ
パネル
#タイキカンカク
>01:0000スキャン
0000~9999
#タイキジカン
>01:10ビョウ
1~99秒
①
②
④

①
②
④
#オクリホセイチ
>01：100．00%
097.00~106.00%
#モト゛シホセイチ
>01：+0000パ゜ルス
±2000パルス
（単位：約2.5μm）
#オウフクホセイチ1 L PAPER
>01：+00
+／−、−32~+31
#オウフクホセイチ1 R PAPER
>01：+00
+／−、−32~+31
#オウフクホセイチ2 L PAPER
>01：+00
+／−、−32~+31
#オウフクホセイチ2 R PAPER
>01：+00
+／−、−32~+31
#オウフクホセイチ3 L PAPER
>01：+00
+／−、−32~+31
#オウフクホセイチ3 R PAPER
>01：+00
+／−、−32~+31
#オウフクホセイチ4 L PAPER
>01：+00
+／−、−32~+31
#オウフクホセイチ4 R PAPER
>01：+00
+／−、−32~+31
#メテ゛ィアサ゛ンリョウ
>01：YYYm
0~999m
0~3278ft
#メテ゛ィアサクシ゛ョ
>02：TYPE02 OK?
#ハ゜ラメーターコヒ゜ーモト
>01
01~20
#ハ゜ラメーターコヒ゜ーサキ
>01→02＊
01~20
①
②
④

①
②
④
チョウセイメニュー
#オクリシング゛ル
>インサツジ゛ッコウ
#オウフクオート
>インサツジ゛ッコウ
#オクリマルチ
>インサツジ゛ッコウ
#オウフクマニュアル
>インサツジ゛ッコウ
#モト゛シ
>インサツジ゛ッコウ
↑バ゛ックフーィド゛
フィード゛↓
←クリーニング゛
サービ゛ス→
バックフィードメニュー
バ゛ックフィード゛チュウ
クリーニングメニュー
#クリーニング゛
>ツウジ゛ョウ
ツウジ゛ョウ
キョウリョク
フィードメニュー
フィード゛チュウ
サービスメニュー
#キャップ゜クリーニング゛
>
#サービ゛ス
>サービ゛スクリーン
サービ゛スクリーン
ヘッド゛ウォッシュ
ショキジ゛ュウテン
ジ゛ュウテン（インクパック）
キャップCLジュウテン
ヘッド゛クリーニング
MENU
#イロキリカエ（8ショク→4ショク）
>
#ヘッド゛カクニン
>
#フィルキャップ゜
>
①

①
↑ファンクション システム↓
←メカチョウセイ ヒーター→
ファンクションメニュー
#メニューインサツ
>
#エラーログ゛インサツ
>
#リレキインサツ
>
メカチョウセイメニュー
#ノズ゛ルプ゜リント
#インサツジ゛ッコウ
#ヘッド゛チョウセイ
#インサツジ゛ッコウ
#エッジ゛センサーチョウセイ
#インサツジ゛ッコウ
システムメニュー
#LANGUAGE
>JAPANESE
JAPANESE
ENGLISH
FRENCH
ITALIAN
GERMAN
SPANISH
PORTUGUESE
#タイムゾ゛ーン(YY/MM/DD)
*yy/mm/dd hh:mi +xx
-12〜+12
#ナガ゛サタンイ
>ミリ
ミリ
インチ
#オンド゛タンイ
>セッシ
セッシ
カシ
#ケイコクオン(キャップ゜オープ゜ン)
>オン
オン
オフ
#ケイコクオン(TURタイムアウト)
>オン
オン
オフ
#ケイコクオン(インクエラー)
>オン
オン
オフ
#BOOTバ゛ージ゛ョン
*X.XX
⑦
⑧

⑦
⑧
#F/Wバ゛ージ゛ョン
*X. XX_YY
#IPBバ゛ージ゛ョン
*XX_YYZ
#ACTバ゛ージ゛ョン
*XX_YYZ
#HCBバ゛ージ゛ョン
*XX_YYZ
#BTCバ゛ージ゛ョン
*XXX
#USBアト゛レス
*000
000～255
#USB スピ゜ート゛
*HIGH-SPEED
HIGH-SPEED
FULL-SPEED
#ショキセッテイ
>
#アップ゜デ゛ート
>
#ジ゛ャムケンシュツカント゛
>キョウ（デ゛フォルト）
キョウ（デ゛フォルト）
ジ゛ャク
ヒーターメニュー
#スタンバ゛イジ゛カン
>30フン
0フン
30フン
60フン
120フン
エント゛レス

索　引

かな

も

よ

アルファベット

F

U